Panasonic®

取扱説明書

ハイビジョンプラズマディスプレイ 業務用

品番 TH-85PF12 （85V 型）

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■**ご使用前に「安全上のご注意」（3 ～ 6ページ）を必ずお読みください。**

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

商標について

- VGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Macintosh は米国 Apple Inc. 社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

保証書別添付

TQZW523

もくじ

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

区分	内容
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

図記号	内容
⚠	気をつけていただく内容です。
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

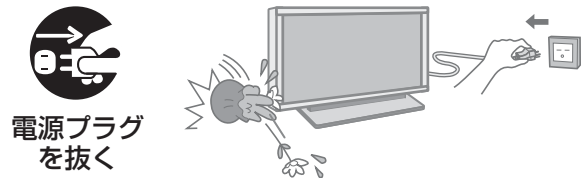
そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

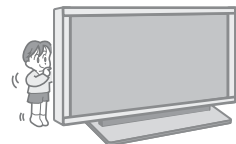
■ 故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！ 電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントを使用ください

煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■ 内部に異物や水などの液体が入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！

■ 壁掛け工事は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

● 指定の別売オプションをご使用ください。

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

● 特にお子様にはご注意ください。

● 表紙および 3 ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

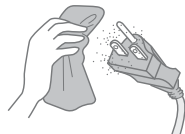
⚠ 警告

電源コードについて

■ 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください

禁止

火災や感電の原因となります。

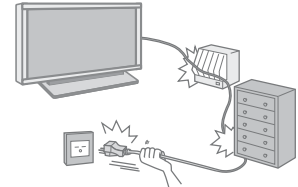
■ 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください

湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

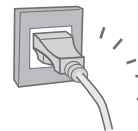
ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■ 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

禁止

傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災･感電の原因となります。

● 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流200 V以外では使用しないでください

禁止

● 200 Vの電源工事は、工事専門業者にご依頼ください。
● たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

■ ぬらしたりしないでください

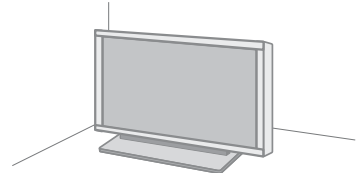
水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

■ 雷が鳴りだしたら本機には触れないでください

接触禁止

感電の原因となります。

■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください

倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■ 上に水などの液体の入った容器を置かないでください

水ぬれ禁止

水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器）

⚠ 警告

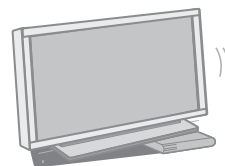
■ 風呂場、シャワー室では使用しないでください

水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 台の上や不安定な場所に置かないでください

禁止

台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

	高圧注意
⚡	サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

⚠ 注意

■ 本機の通風孔をふさがないでください

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

● 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は10 cm以上、後面は15 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがないでください。その他の取り付けかたでご使用のときは、対応する取り付け工事説明書に従ってください。（工事説明書に寸法の記載がない場合は、上下・左右は10 cm以上、後面は15 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。）
● 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
● あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■ 上に物を置かないでください

禁止

倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■ 本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください

禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

● 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■ 本機に脚立を立てかけるなどしないでください

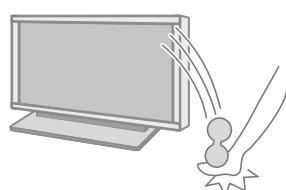
禁止

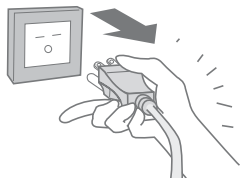
落下してけがの原因となることがあります。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください

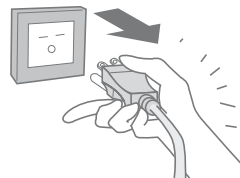
禁止

調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

注意

■ 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください

コードを引っぱると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■ 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■ 適度な距離※を保ってご覧ください

本機の画面を近距離でご覧になると、映像によっては映像酔いすることがあります。

※画面の高さの約3倍程度を目安にしてください。

■ 転倒防止の処置をしてください

地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

■ 接続ケーブルの処理は確実に行ってください

ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされますと、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続ケーブルを引っぱったり、ひっかけたりしないでください

禁止

倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

● 特に、お子様にはご注意ください。

■ 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください

機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ ディスプレイパネルはガラス製ですので、強い力や衝撃を加えないでください

禁止

けがの原因となることがあります。

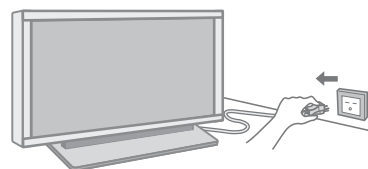
お手入れについて

■ 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

お手入れ／上手な使いかた

■ 設置されるとき

本機の設置については、下記の事項をお守りください。

- **機器相互の干渉に注意してください。**
  プラズマディスプレイの影響を受けて、ビデオやラジオ等の映像や音声に雑音が入ったり誤動作する場合があります。
  （発生した場合はディスプレイ本体から十分離してご使用ください。）
- **機器の接続は電源を「切」にして行ってください。**
  各機器の説明書に従って、接続してください。
- **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。**
  本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- **本機の質量に耐えられる場所に設置してください。**
  指定の取り付けユニットをご使用ください。
  （☞ 8ページ）
- **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。**
  高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。
- **直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。**
  キャビネットの変形や故障の原因となります。
- **本機を移動されるとき。**
  ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

■ ご使用になるとき

- **本機は残像が発生することがあります。**
  画面モードを「ノーマル」（映像の横縦比4：3）や2画面表示で長時間ご覧になると、映像の表示部と映像の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像（焼き付き現象）が発生します。
  画面モードをジャストやフル、ズームにしてご覧になると軽減されます。静止画や静止文字を長時間表示した場合、同様に残像が発生します。この場合は、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、少し軽減されますが、完全に消えませんのでご注意ください。
- **ディスプレイパネル表面について**
  ディスプレイパネル表面に指紋や汚れが付くと、きれいな映像が見られません。
  傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- **適度の音量で隣近所への配慮を**
  特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。
- **長時間ご使用にならないときは**
  電源プラグをコンセントから抜いておいてください。リモコンで電源を切った場合は約 1.2 W（待機電力低減設定「オフ」）または約 0.7 W（待機電力低減設定「オン」）、本体の電源を切った場合は約 0.4 W の電力を消費します。

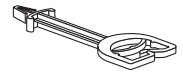
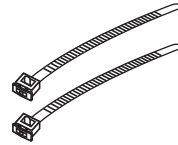
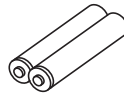
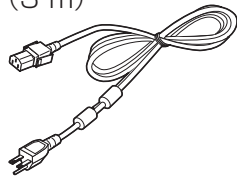
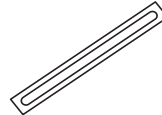
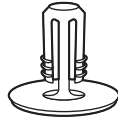
■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- **キャビネットはやわらかい乾いた布で**
  汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤（中性）にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。
- **殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない**
  キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
- **ディスプレイパネルの前面は時々、やわらかい布（綿・ネル地など）で軽くふく**
  ・ひどい汚れやディスプレイパネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で100倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  ・水滴が内部に入ると故障の原因になります。

お知らせ ディスプレイパネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷が付く原因になります。

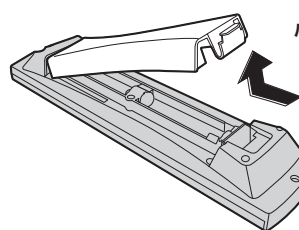
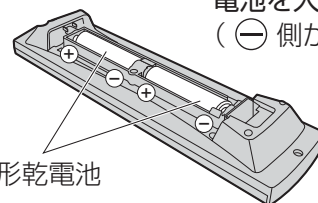
付属品の確認

付属品が入っていることをご確認ください。(　　)は個数です。

別売オプション

別売オプションの設置は、しっかり取り付けてください。（取り付けは専門の業者にご依頼ください。）

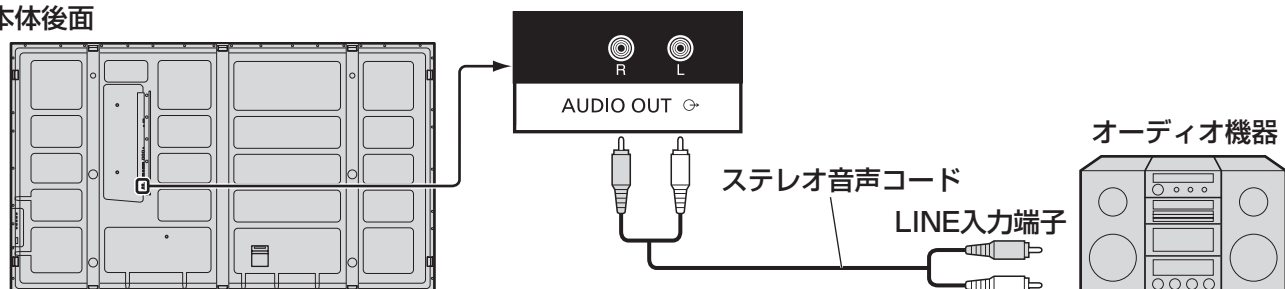
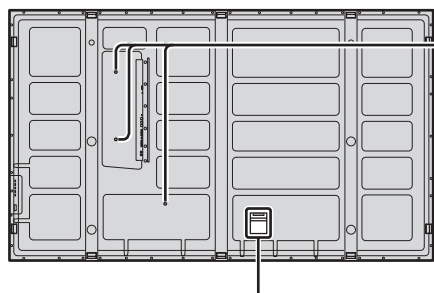
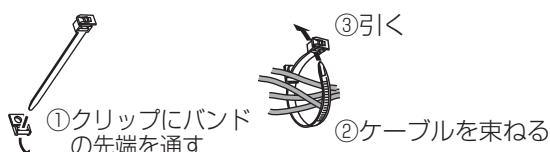
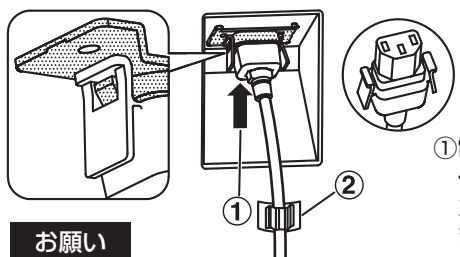
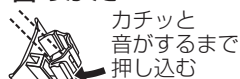
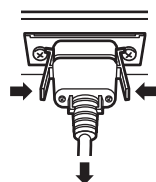
- 据置きスタンド：TY-ST85P12
- 床置きスタンド：TY-ST85PF12
- 壁掛け金具
  垂直取付型：TY-WK85PV12
- 天吊り金具：TY-CE85PS12
- RGBアクティブスルー端子ボード：TY-42TM6G
- PC入力端子ボード：TY-42TM6P
- コンポーネントビデオ端子（RCA）ボード：TY-42TM6Z
- コンポーネントビデオ端子（BNC）ボード：TY-42TM6A
- ビデオ端子（RCA）ボード：TY-42TM6V
- ビデオ端子（BNC）ボード：TY-42TM6B
- デュアルビデオ端子（BNC）ボード：TY-FB9BD
- ビデオ/コンポーネントビデオ端子ボード：TY-42TM6Y
- DVI-D端子ボード　：TY-FB11DD
- SDI端子ボード　　：TY-FB7SD
- Dual Link HD-SDI端子ボード　：TY-FB11DHD
- HD-SDI端子ボード：TY-FB9HD
- HD-SDI端子ボード（音声対応）：TY-FB10HD
- ワイヤレスプレゼンテーションボード：TY-FB10WPE
- AVターミナルBOX：TY-TB10AV
- HDMI端子ボード　：TY-FB8HM
- デュアルHDMI端子ボード　：TY-FB10HMD
- Irスルー端子ボード：TY-FB9RT
- 地上デジタルチューナーボード　：TY-FB11DTJ

お願い
- 取り付けるときは別売オプションに同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- 壁掛けの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 据置きスタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 設置時、衝撃などによる「パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

リモコンの電池の入れかた

お願い
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
  また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

接続

AUDIO OUT端子の接続

本機は非常に大型で重量がありますので、設置・移動につきましては、お買い上げの販売店、または専門業者にご依頼ください。

電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定

接続

DVI-D IN（DVI-D入力）端子の接続例

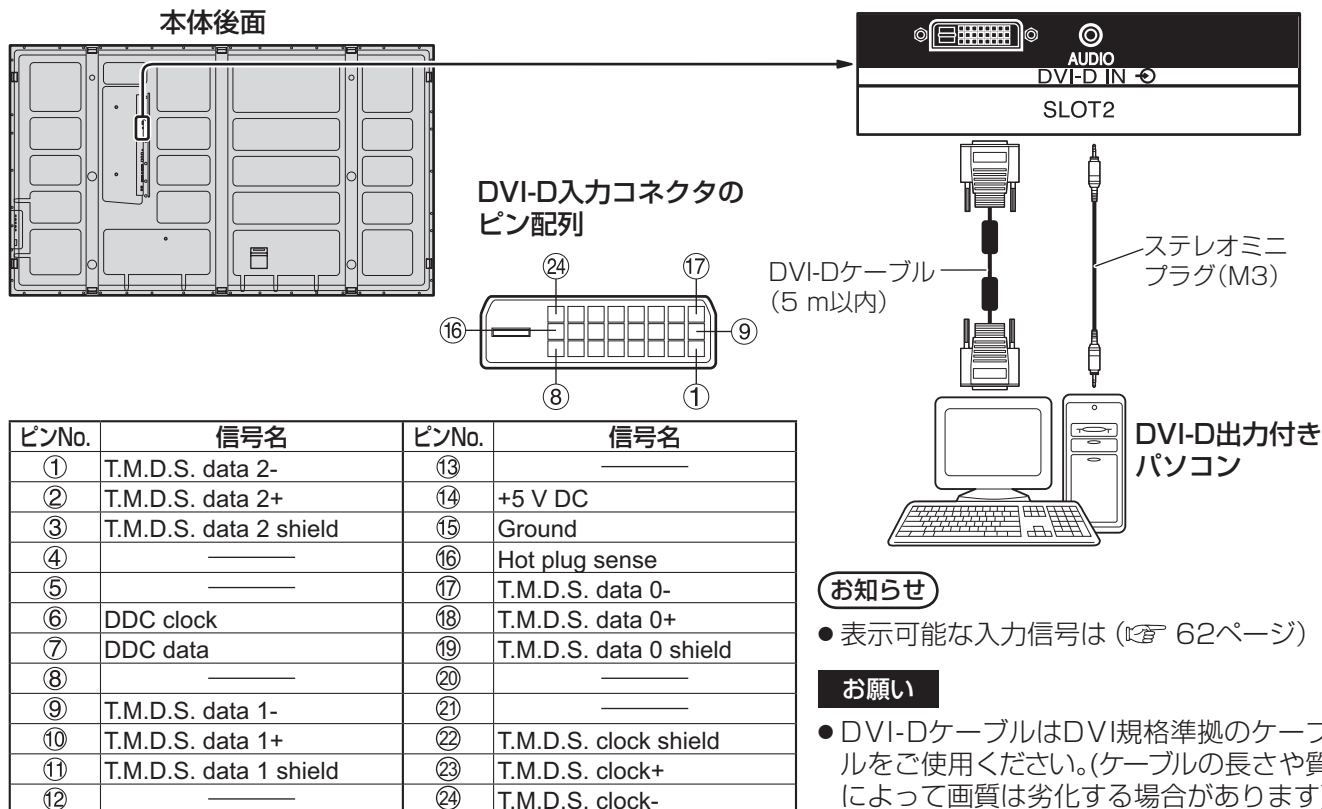
本機は、DVI-D端子ボード（TY-FB11DD）相当品を標準装備しています。

ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	T.M.D.S. data 2-	⑬	―――――
②	T.M.D.S. data 2+	⑭	+5 V DC
③	T.M.D.S. data 2 shield	⑮	Ground
④	―――――	⑯	Hot plug sense
⑤	―――――	⑰	T.M.D.S. data 0-
⑥	DDC clock	⑱	T.M.D.S. data 0+
⑦	DDC data	⑲	T.M.D.S. data 0 shield
⑧	―――――	⑳	―――――
⑨	T.M.D.S. data 1-	㉑	―――――
⑩	T.M.D.S. data 1+	㉒	T.M.D.S. clock shield
⑪	T.M.D.S. data 1 shield	㉓	T.M.D.S. clock+
⑫	―――――	㉔	T.M.D.S. clock-

お知らせ

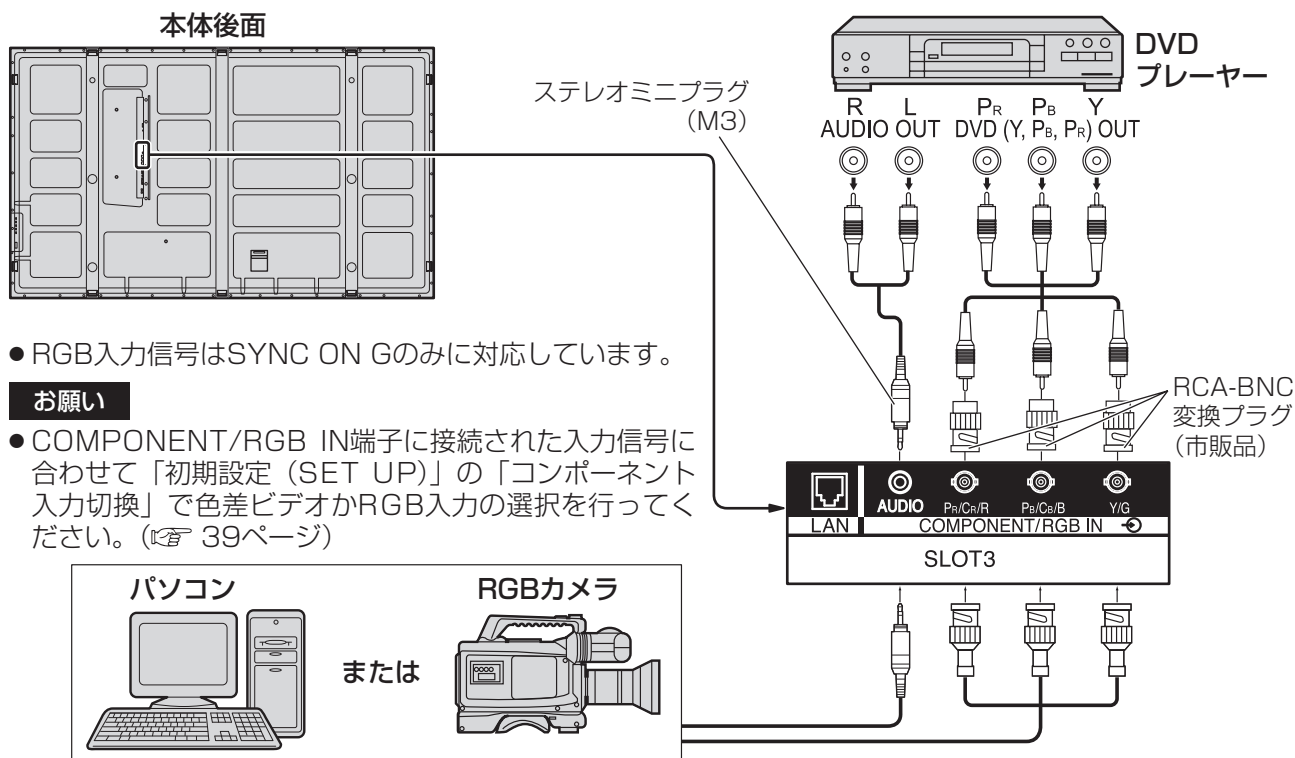
- 表示可能な入力信号は（☞ 62ページ）

お願い

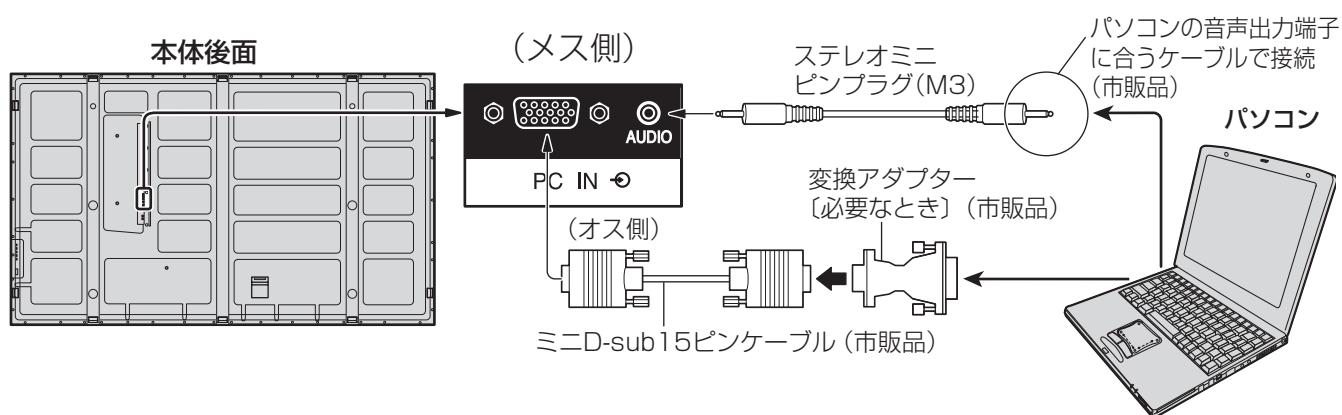
- DVI-DケーブルはDVI規格準拠のケーブルをご使用ください。(ケーブルの長さや質によって画質は劣化する場合があります)

COMPONENT/RGB IN（コンポーネント／ RGB入力）端子の接続例

- RGB入力信号はSYNC ON Gのみに対応しています。

お願い

- COMPONENT/RGB IN端子に接続された入力信号に合わせて「初期設定（SET UP）」の「コンポーネント入力切換」で色差ビデオかRGB入力の選択を行ってください。（☞ 39ページ）

お知らせ

- 表示可能な入力信号は（☞ 62ページ）
- ブラウン管の走査を利用した電子銃による光線銃等のゲーム機器はプラズマディスプレイの構造上、使用できません。

PC IN（パソコン入力）端子の接続例

接続できるパソコン信号の種類

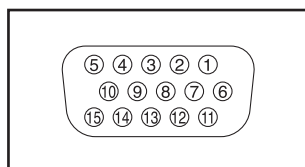
● 本機は、下の表に記載の代表的な 30 種類のパソコン信号について、あらかじめ標準的な画面の位置やサイズなどの調整値を記憶しています。
表に記載されていないパソコン信号は、最大 8 種類まで追加して記憶します。
（対応周波数は水平：15 kHz ～ 110 kHz、垂直：48 Hz ～ 120 Hz です。）
〈本体に記憶済みのパソコン信号一覧表〉　※ パソコン側が以下の信号に対応している必要があります。

640×400:70 Hz	800×600:72 Hz	1280×768:60 Hz ※	1066×600:60 Hz ※
640×480:60 Hz	800×600:75 Hz	1280×960:60 Hz	1366×768:60 Hz ※
640×480:72 Hz	800×600:85 Hz	1280×960:85 Hz	1920×1080:60 Hz
640×480:75 Hz	1024×768:60 Hz	1280×1024:60 Hz	640×480:67 Hz（Mac13"）
640×480:85 Hz	1024×768:70 Hz	1280×1024:75 Hz	832×624:75 Hz（Mac16"）
852×480:60 Hz ※	1024×768:75 Hz	1280×1024:85 Hz	1152×870:75 Hz（Mac21"）
800×600:56 Hz	1024×768:85 Hz	1600×1200:60 Hz	
800×600:60 Hz	1152×864:75 Hz	1600×1200:65 Hz	

● 解像度は「ノーマル」で最大1440×1080ドット、「フル」で最大1920×1080ドットの表示が可能です。（SXGA 対応）
水平または垂直解像度が上記ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
● 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
● パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が上記の表に該当しているかご確認のうえ、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。（パソコンの取扱説明書をご確認ください）

お願い この端子（ミニD-sub15 ピン）は、コンポーネント（色差）ビデオ信号に対応しています。入力信号に合わせて初期設定（SET UP）の「コンポーネント入力切換」で色差ビデオかRGB 入力の選択を行ってください。（☞ 39 ページ）

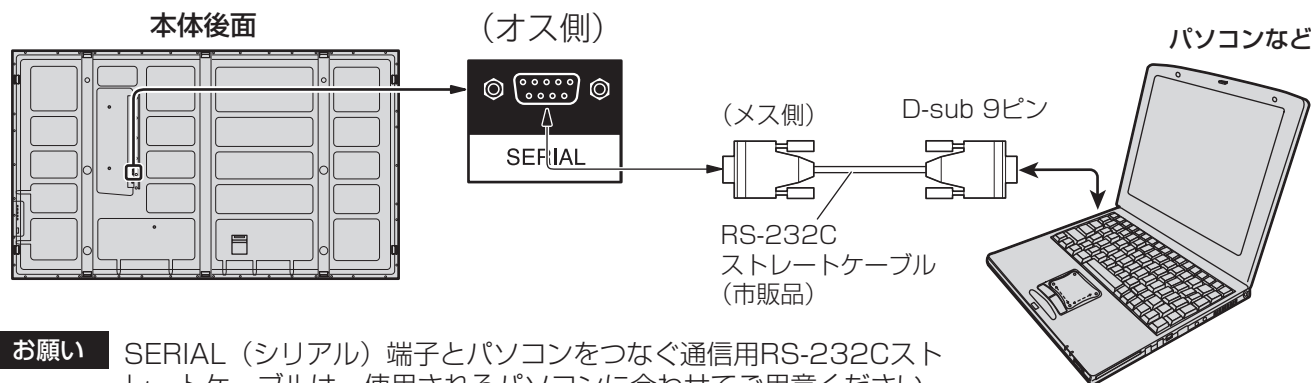
お知らせ
● ディスプレイのプラグ・アンド・プレイ（DDC2B）に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
● パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
● D-sub15 ピン端子の機種やMacintosh のパソコンを接続する場合には、必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
※パソコンのミニD-sub15 ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。

パソコン入力端子（ミニD-sub15ピン）のピン配列と信号名

ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	R(P_R / C_R)	⑥	GND(アース)	⑪	NC(無接続)
②	G(Y)	⑦	GND(アース)	⑫	SDA
③	B(P_B / C_B)	⑧	GND(アース)	⑬	HD ／ SYNC
④	NC(無接続)	⑨	+5 V DC	⑭	VD
⑤	GND(アース)	⑩	GND(アース)	⑮	SCL

接続

SERIAL（シリアル）端子の接続例（パソコンで制御する場合）

SERIAL（シリアル）端子はRS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本体をパソコンで制御することができます。

お知らせ　本機をシリアル制御する場合は「ネットワーク設定」メニューの「制御端子選択」を必ず「RS-232C」に設定してください。（☞ 51ページ）

お願い　SERIAL（シリアル）端子とパソコンをつなぐ通信用RS-232Cストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

ピン配列と信号名

① ② ③ ④ ⑤
⑥ ⑦ ⑧ ⑨

本体側
シリアル〈SERIAL〉端子

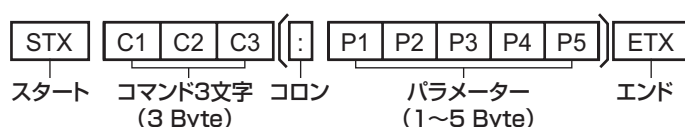
ピンNo.	信号名	内　容
①	CD	NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④	DTR	未使用
⑤	GND	グランド
⑥	DSR	未使用
⑦	RTS	（本体側で短絡）
⑧	CTS	（本体側で短絡）
⑨	RI	NC

※ パソコン側の仕様で記載しています。

通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期（非同期）
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

お願い　複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロン（：）は必要ありません。

お知らせ
- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
- 電源「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」）中は“PON”コマンド以外の動作は保証されません。
- コマンドIMSのSL1A、SL1B、SL2A、SL2Bを選択できるのは、2入力の端子ボード装着時のみです。

コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	＊＊	音量 00 ～ 63
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
I MS	なし	入力切換（トグル）
	SL1	スロット1入力
	SL2	スロット2入力
	SL3	スロット3入力
	PC1	パソコン入力
	SL1A	スロット1入力（INPUT1A）
	SL1B	スロット1入力（INPUT1B）
	SL2A	スロット2入力（INPUT2A）
	SL2B	スロット2入力（INPUT2B）
DAM	なし	画面モード切換（トグル）
	ZOOM	ズーム（ビデオ/SD/パソコン信号時）
	FULL	フル
	JUST	ジャスト（ビデオ/SD信号時）
	NORM	ノーマル（4：3）（ビデオ/SD/パソコン信号時）
	SELF	セルフワイド（ビデオ信号時）
	ZOM2	サイドカットズーム（HD信号時）
	SJST	サイドカットジャスト（HD信号時）
	SNOM	サイドカットノーマル（HD信号時）
	SFUL	サイドカットフル（HD信号時）

各部の基本説明

リモコン

電源（ON）
ディスプレイ本体の電源が「入」（電源ランプ赤色または橙色点灯）のとき、電源を「入」（電源ランプ緑色点灯）にします。（☞ 16ページ）

標準（N）
映像や音声などの調整状態を標準値に戻します。

決定（■）
メニュー画面で項目を決定します。

上･下･左･右
（▲･▼･◀･▶）
メニュー画面で項目の選択や設定の切り換え、レベルを調整します。

画面位置／サイズ調整（POS. / SIZE）
（☞ 25 ～ 27ページ）

画質の調整（PICTURE）
（☞ 29・30ページ）

入力切換（INPUT）
接続された機器の入力に切り換えます。（☞ 17ページ）

消音（🔇）
音声を一時的に消します。
（☞ 17ページ）

画面モード（ASPECT）
拡大画面を選択します。
（☞ 19・20ページ）

2画面（MULTI PIP）
1画面と2画面を切り換えます。
（☞ 21ページ）

画面入換（SWAP）
2画面の主画面と副画面を入れ換えます。（☞ 22ページ）

操作画面（SELECT）
2画面のとき、操作したい画面を選択します。
（☞ 22ページ）

デジタルズーム／画面位置（MOVE ZOOM）
1画面のときにデジタルズームモードにします。
（☞ 18ページ）
2画面（P IN P）の
副画面の位置を切り換えます。
（☞ 22ページ）

電源（OFF）
ディスプレイ本体の電源が「入」（電源ランプ緑色点灯）のとき、電源を「切」（電源ランプ赤色または橙色点灯）にします。（☞ 16ページ）

戻る（R）
映像、音声などの調整画面、各種機能の設定画面を一つ前の状態に戻します。

画面表示（⊕）
入力モード・画面モードなどの各種設定状態を確認します。
（☞ 17ページ）

初期設定（SET UP）
（☞ 36 ～ 52ページ）

音声の調整（SOUND）
（☞ 28ページ）

入力切換（INPUT 1･2･3･PC）
接続された機器の入力に直接切り換えることができます。
（☞ 17ページ）

音量（VOL − ＋）
音量を調整します。
（☞ 17ページ）

IDリモコンとして使うときにID番号の設定に使用します。
（☞ 46ページ）

オフタイマー（OFF TIMER）
自動的に電源を切ります。
（☞ 17ページ）

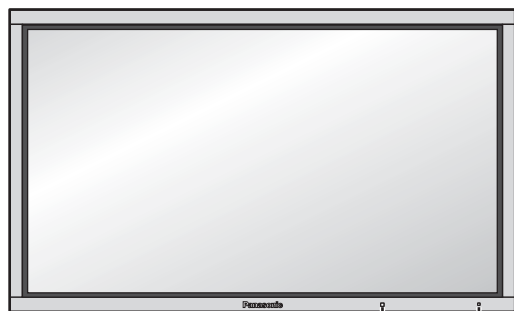
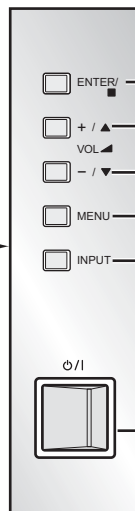
サラウンド（SURROUND）
臨場感のある音声で楽しみます。
（☞ 17ページ）

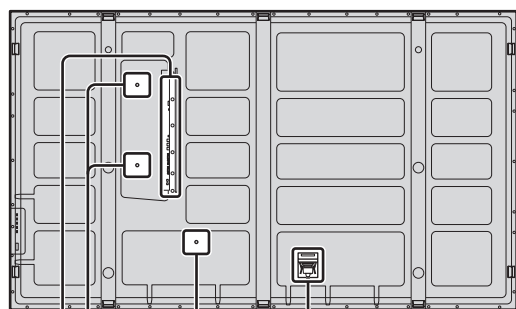
操作モード切り換え（NORMAL ID）
ディスプレイ本体の操作（通常）のときはNORMALに、ID selectで設定されたディスプレイ本体を操作のときはIDに切り換えます。
（☞ 46ページ）

お願い
- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

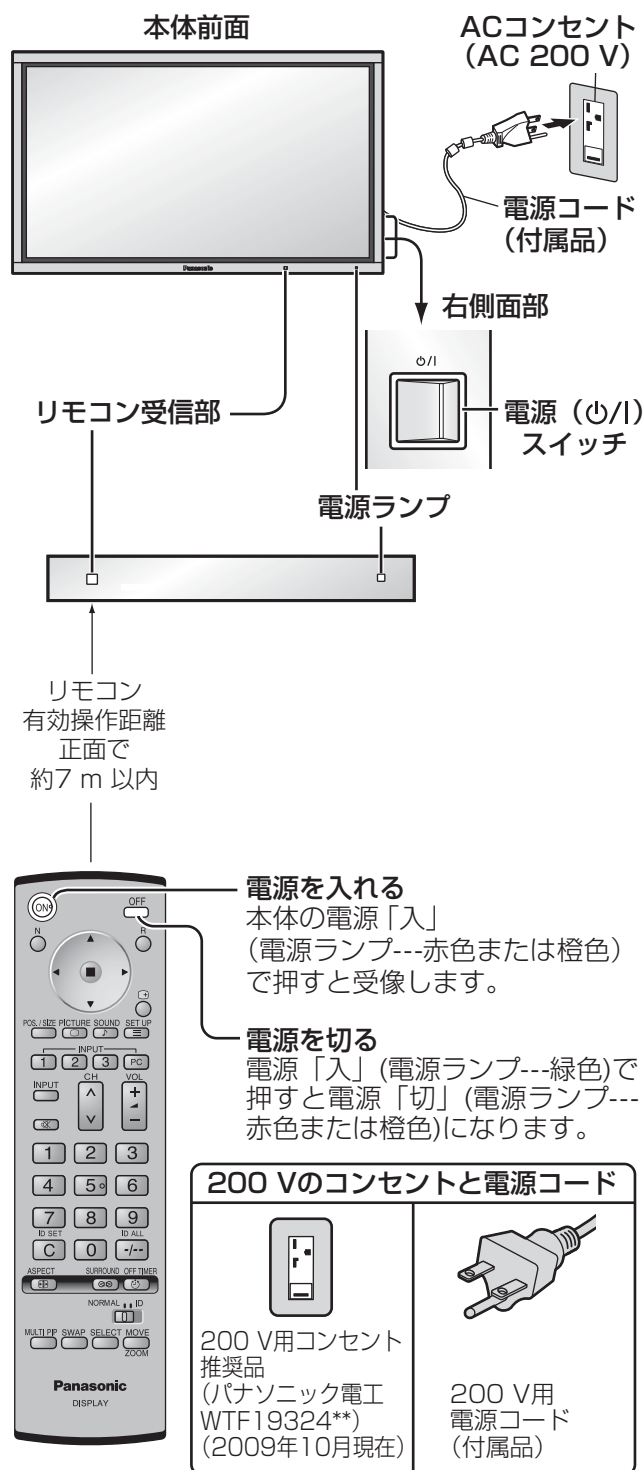
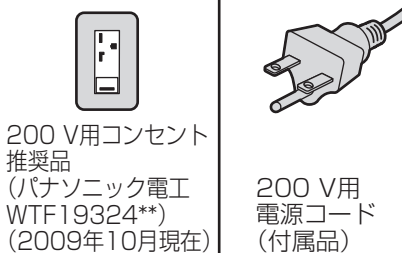
各部の基本説明

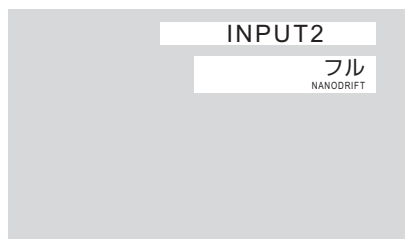
ディスプレイ本体

前 面

● 電源が「切」および電源ランプが赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。

後面

各接続端子について

- DVI-D IN端子 .... DVI-D端子
  AUDIO (IN)端子 M3ジャック
- LAN端子...................................... RJ45コネクタ
- COMPONENT/RGB IN端子 .... BNC
  AUDIO (IN)端子 M3ジャック
- PC IN端子............................ ミニD-sub15ピン
  AUDIO (IN)端子 M3ジャック
- SERIAL端子 D-sub9ピン

基本の操作

2回目以降に電源を「入」にしたとき

例：

準備

電源プラグをコンセントへ接続します。
（AC 200 V 50 Hz/60 Hz）

お願い
● 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

電源を入れる

本体の電源（⏻/I）スイッチを押し電源を「入」にします。

電源ランプが緑色に点灯します。
● 本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

本機の電源を「入」にした後、しばらくの間、下のように画面表示されます。

初めて電源を「入」にしたとき

次の画面が表示されます。
リモコンで設定してください。本体のボタンでは設定できません。

表示言語切換

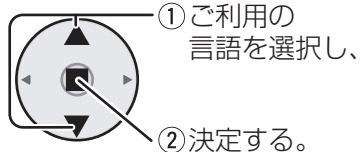
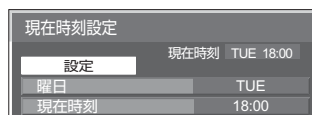
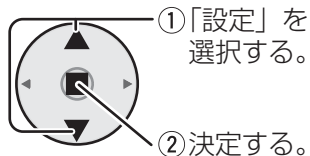
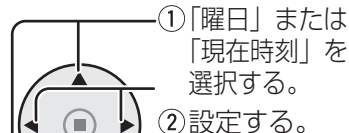
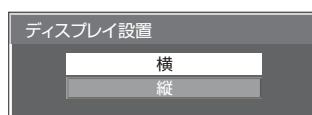
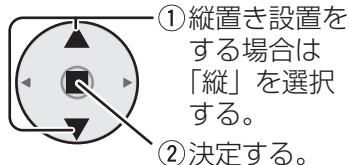
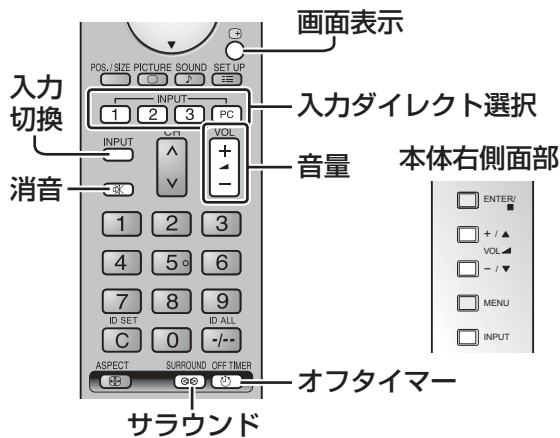
①ご利用の言語を選択し、
②決定する。

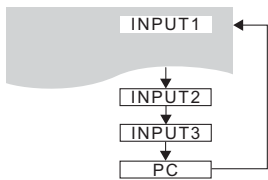
現在時刻設定

①「曜日」または「現在時刻」を選択する。
②設定する。

①「設定」を選択する。
②決定する。

ディスプレイ設置

①縦置き設置をする場合は「縦」を選択する。
②決定する。

お知らせ
● これらの画面は、一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。
● 設定後でも次のメニューで設定を変更できます。
表示言語切換 ☞ 40ページ
現在時刻設定 ☞ 50ページ
ディスプレイ設置 ☞ 52ページ

入力信号を切り換える

INPUT または INPUT を押して本機に入力された信号を選択します。押すごとに切り換わります。

INPUT 1 2 3 PC を押すと、本機に入力された信号をリモコンで直接切り換えることができます。

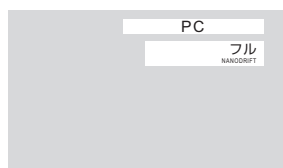
端子ボードを取り付けていないスロットを選択した場合は現在の入力を表示します。

- 「入力表示書換設定」で設定した信号名を表示します。(☞ 39ページ)
- 「INPUT lock」が「Off」以外の設定のときは入力は切り換わりません。(☞ 55ページ)
- コンポーネント（色差）ビデオ、RGBの切り換えは、接続した機器に合わせて初期設定（SET UP）の「コンポーネント入力切換」で設定します。(☞ 39ページ)
- ビデオ入力は「NTSC」「PAL」「SECAM」などのカラーシステム方式の切り換えができます。(☞ 36ページ)

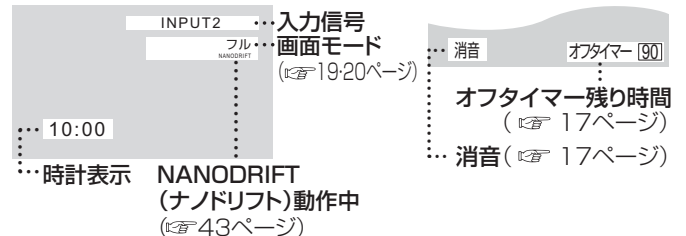
パソコン画面に切り換える

PC IN（パソコン入力）端子に接続したパソコンの画面になります。

PC INPUT または INPUT を押して「PC」を選択します。

- 静止画を長時間映すと、プラズマディスプレイパネルに映像の焼き付き（残像現象）を起こす恐れがあるため、画面を少し暗くする機能（☞ 63ページ）が働きますが十分ではありませんのでご注意ください。このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能およびロングライフ設定のご利用をおすすめします。(☞ 42 ～ 44ページ)

入力信号・画面モードなどを知りたいとき

入力信号・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。

を押すと現在の入力信号と画面モードおよび現在時刻を約5秒間表示した後、オフタイマーと消音が動作中の場合はオフタイマーの残り時間を約3秒間、消音を約10秒間表示します。

- 選択している入力に映像信号がない場合は、最後に「無信号」が約30秒間表示されます。
- 時計表示をするには、現在時刻を設定し、「Clock Display」を「On」に設定してください。(☞ 50・57ページ)

音量を調整する

VOL + − または +/▲ VOL −/▼ を押して音量を調整します。

- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。
- Maximum VOL level（最大音量設定）が「On」のときは、設定した音量まで上げると表示（数値）は赤色になり、設定した音量以上にはなりません。(☞ 55ページ)

消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの応対のとき便利です。

を押します。

消音

画面に「消音」の表示が出て音が消えます。再度押すと解除されます。

- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されます。
- 消音設定中は、操作後に「消音」の表示が出てお知らせします。

サラウンド（SURROUND）を使う

臨場感のある音声で楽しむことができます。

SURROUND を押します。

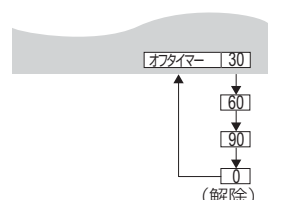
押すごとに「オフ」「オン」となります。

- 「音声の調整」メニューの「サラウンド」でも「オフ」「オン」の設定ができます。(☞ 28ページ)

オフタイマー（OFF TIMER）を使う

タイマー設定（30分、60分、90分）で自動的に電源を切ることができます。

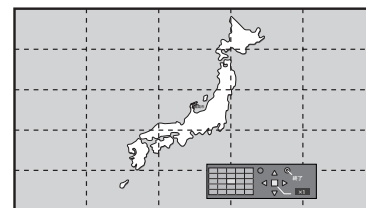
OFF TIMER を押すごとにタイマー設定時間が選択できます。

- タイマーが切れる3分前になると残り時間を点滅（赤色）表示した後、電源が切れます。
- オフタイマー残り時間を知りたいときは を押します。
- オフタイマー動作中に停電などで電源が切れると、オフタイマーは解除されます。

画面領域を拡大表示する（デジタルズーム）

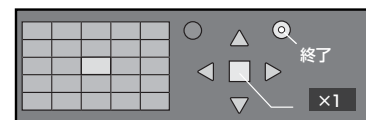
拡大したい画面領域（25領域）を選び、選んだ画像領域を2倍、3倍、4倍に拡大します。
（リモコンで操作してください。本体のボタンでは操作できません。）

1 デジタルズームモードにする

MOVE/ZOOM を押します。

画面のアスペクトは「フル」になり、
デジタルズーム操作ガイドが表示されます。

2 拡大したい画像領域を選ぶ

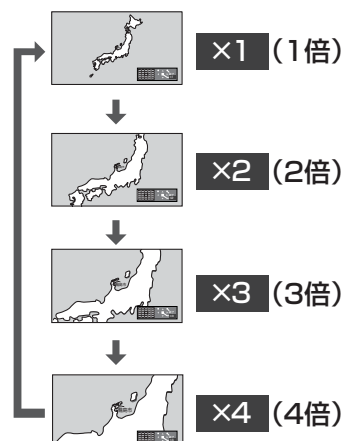
▲▼◀▶ を押して選びます。

- 画面を拡大しているときでも選べます。
- 以下のボタンを押すと、デジタルズーム モードのまま、押されたボタンの動作を行います。

デジタルズーム操作ガイド

3 画面領域の拡大率を切り換える

■ を押すごとに、切り換わります。

- **画面の拡大率が「×1（1倍）」の場合に、** 約60秒間操作をしないと、終了します。
- **画面の拡大率が「×2（2倍）」、「×3（3倍）」、「×4（4倍）」の場合に、** 約3秒間操作をしないとデジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

▲▼◀▶ のいずれかを押すと、再度表示します。

4 デジタルズームモードを終了する

R を押すと、終了します。

画面はデジタルズームモードに入る前の状態になり、デジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

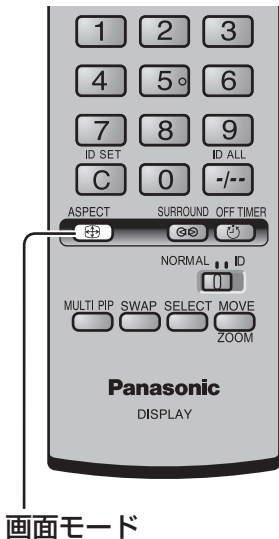
- 以下のボタンを押すと、終了します。その後、押されたボタンの動作を行います。

- スクリーンセーバーのタイマー起動でデジタルズームモードが終了します。
- 電源を「切」にした場合には、強制終了します。
  - ･本体の電源スイッチを「切」にしたとき
  - ･オフタイマーやタイマー設定で電源が「切」になったとき
  - ･無信号自動オフやDPMS機能などで電源が「切」になったときなど

お知らせ

- 下記の場合は、デジタルズームモードにはなりません。
  - ･「マルチ画面設定」を拡大分割画面「オン」に設定しているとき
  - ･「ポートレート設定」を拡大分割画面「オン」に設定しているとき
  - ･2画面表示のとき
  - ･スクリーンセーバー（色反転を除く）起動中のとき
- 拡大した映像は元の映像より粗い表示になります。

映像に合わせた拡大画面にする（ASPECT）

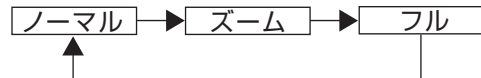
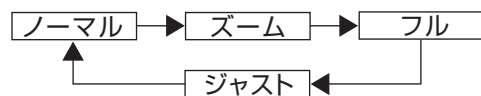
本体右側面部

画面モード

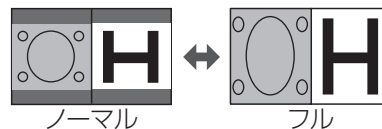
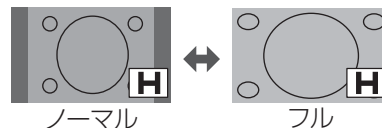
ASPECT または ENTER/■ を押すごとに切り換わります。

画面モードの詳しい説明については、60ページ「画面モード一覧」をご覧ください。

● ビデオ（Sビデオ）信号のとき

※デュアルビデオ端子（BNC）ボード（TY-FB9BD）を装着したスロットを選択している場合、セルフワイド は選択できません。

● パソコン信号のとき

● SD信号（525（480）/ 60i・60p、625（575）/ 50i・50p）のとき

● HD信号（1125（1080）/ 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24sF、750（720）/ 60p・50p、1250（1080）/ 50i）のとき

● 2画面モード（P AND Pの主・副画面、P IN Pの主画面）のときは、下のように切り換わります。

お知らせ
- 画面モードはINPUT1、INPUT2、INPUT3、PC ごとに記憶します。
  2入力の端子ボード装着時は、各入力（A/B）ごとに記憶します。
- S2映像入力について
  S1映像信号が入力されると、フル として動作します。S2映像信号が入力されると、ズーム として動作しますが、画面には ワイド と表示されます。

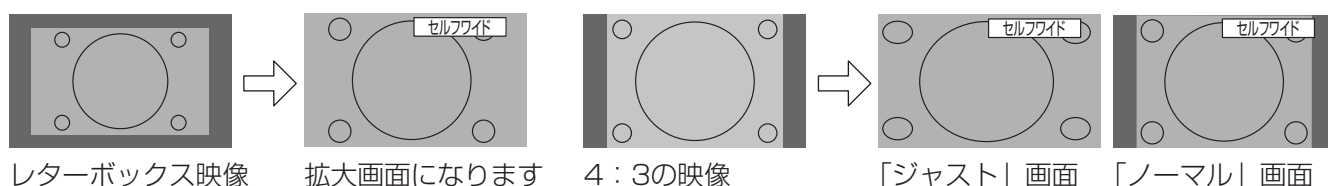
映像の横縦比（アスペクト）

放送や映像ソフトにより画面の横と縦の比が異なります。

放送・映像ソフト	横縦比
● VHF、UHF放送 （一部のデジタル放送）	4 : 3
● ハイビジョン放送 ● ワイドクリアビジョン放送 ● ビスタビジョンサイズⅠソフト（一部のデジタル放送）	16 : 9
● ビスタビジョンサイズⅡソフト	5 : 3
● シネマビジョンサイズソフト	2.35 : 1

映像に合わせた拡大画面にする（ASPECT）

■自動で拡大画面にする（セルフワイド）

レターボックス映像　拡大画面になります　４：3の映像　「ジャスト」画面　「ノーマル」画面

初期設定（SET UP）のセルフワイド設定（☞ 37ページ）で設定した「ジャスト」または「ノーマル」の画面

- ノイズの多い映像信号などの場合に、画面がフラッシングする場合があります。そのときは、セルフワイド以外の画面モードを選択してください。（☞ 19ページ）
- セルフワイドで映像拡大中は、画面位置/サイズの調整（☞ 25 ～ 27ページ）で垂直位置、垂直サイズを調整しても記憶されません。
  映像拡大が解除されたときは、調整前の垂直位置と垂直サイズに戻ります。

■全画面モード（All Aspect）

オプションメニューの「All Aspect」を「On」に設定すると（☞ 57ページ）、より幅広い拡大画面の切り換えができます。全画面モードにすると、拡大画面は次のように切り換わります。
画面モードの詳しい説明については、60ページ「画面モード一覧」をご覧ください。

- ビデオ（Sビデオ）信号入力時のとき

4:3 → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → Panasonic Auto※1 → 16:9 → 14:9 → Just

※1 全画面モードでは、セルフワイド は Panasonic Auto と表示します。
デュアルビデオ端子（BNC）ボード（TY-FB9BD）を装着したスロットを選択している場合、Panasonic Auto は選択できません。

- パソコン信号のとき

4:3 → Zoom → 16:9

- SD信号（525（480）/ 60i · 60p、625（575）/ 50i · 50p）のとき

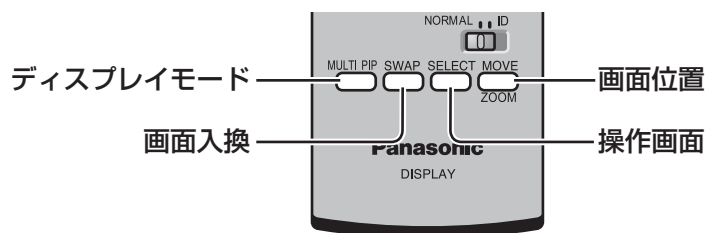
4:3 → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → 16:9 → 14:9 → Just

- HD信号（1125（1080）/ 60i · 50i · 60p · 50p · 24p · 25p · 30p · 24sF、750（720）/ 60p · 50p、1250（1080）/ 50i）のとき

4:3 Full → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → 16:9 → 14:9 → Just1 → Just2 → 4:3(1) → 4:3(2)

お知らせ
- このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上の権利を侵害する恐れがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意願います。
- ワイド映像でない従来（通常）の4：3の映像をズーム·ジャスト·フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

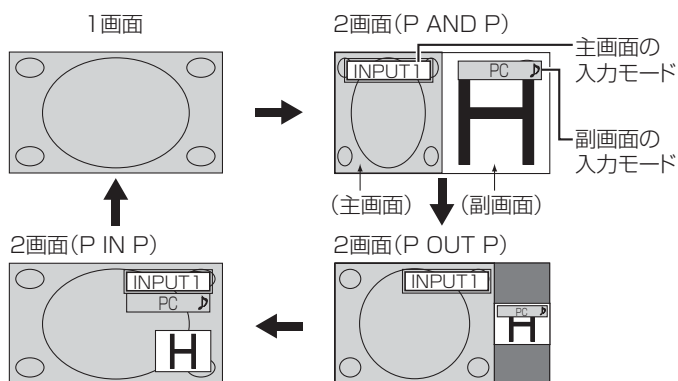
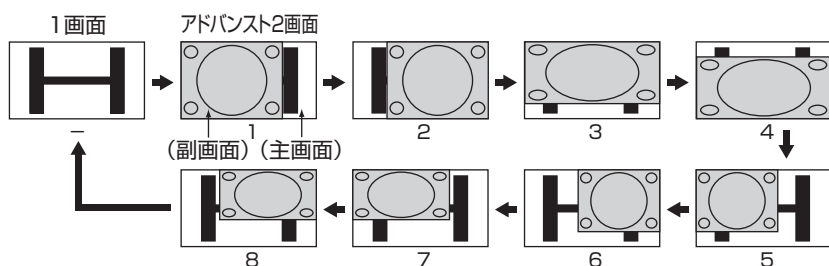
2 画面で表示する

ビデオ映像とパソコン画像などを2画面で表示します。(リモコンで操作してください。本体のボタンでは操作できません。)

2画面設定
2画面表示の機能やモードは、初期設定(SET UP)の「2画面設定」で設定します。(☞ 47ページ)

ディスプレイモードを切り換える

MULTI PIP を押すごとに画面が切り換わります。

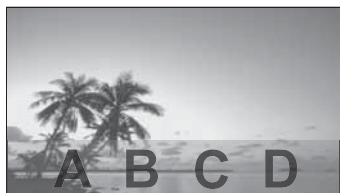
お知らせ 「2画面設定」の「ディスプレイモード」を切り換えると、同様に画面が切り換わります。(☞ 47ページ)

2画面のとき:

アドバンスト2画面のとき:

お知らせ アドバンスト2画面中は、ASPECT、MOVE ZOOM ボタンでの操作はできません。

ブレンド2画面のとき(画面合成機能):
主画面の上に副画面を合成表示します。例えば、動画や静止画の上に、パソコン画像などの文字情報をテロップ表示できます。

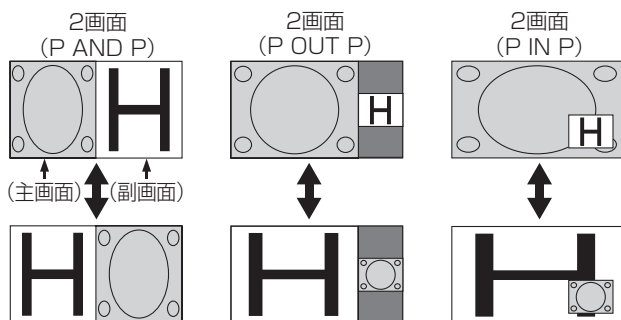
2画面で表示する

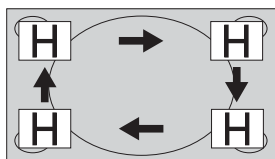
透過機能とオーバーレイ機能
ブレンド2画面には透過機能とオーバーレイ機能の2種類があります。これらの機能は「2画面設定」の「透過設定」または「オーバーレイ設定」で設定します。(☞ 47ページ)

透過機能
背景画像の上に文字情報などを透過して表示します。

オーバーレイ機能
副画面の映像を透過領域/非透過領域に分離し、非透過領域のみを背景画像の上にオーバーレイ表示します。

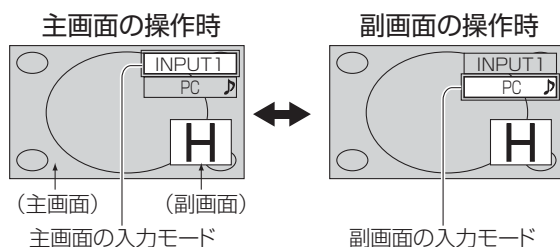
お知らせ　ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、ブレンド2画面機能を利用して画面の合成表示を行いますと、著作権法上の権利を侵害する恐れがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意願います。

画面を入れ換える

SWAP を押すごとに主画面と副画面の映像が入れ換わります。

副画面の位置を切り換える〔2画面（P IN P）のとき〕

MOVE/ZOOM を押すごとに、副画面の位置が切り換わります。

お知らせ　副画面の位置によっては、メニュー画面の表示に隠れる場合があります。

操作対象画面を切り換える

SELECT を押すごとに、操作対象画面が切り換わります。
例）2画面（P IN P）のとき

お知らせ
- 副画面操作時は INPUT ボタンのみ動作します。
- 副画面操作中は副画面の音声が出ます。
- 操作しないと約5秒後に主画面操作へ自動的に戻ります。また、リモコンのボタン（INPUT は除く）操作でも主画面操作に戻ります。

お願い　2画面で長時間、表示しないでください。焼き付きの原因になります。

お知らせ
- 「INPUT lock」が「Off」以外に設定されていると2画面にはなりません。
- 主画面と副画面は、別々の回路で処理を行うため、映像の鮮明さに若干の差があります。また、主画面に表示する信号の種類や2画面の表示モードによっても、副画面の画質に差が生じる場合があります。
- 主画面と副画面で同じ入力信号の映像は映せません。
- アナログ（コンポーネント/RGB）とアナログ（コンポーネント/RGB）信号を組み合わせた2画面表示はできません。
- テレビゲームを2画面で楽しむときは、テレビゲームを主画面にしてください。（映像の乱れを防ぐため）
- パソコンの2画面は簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
- 2画面に切り換えたときや ◯ を押したときに2画面時音声出力（☞ 28ページ）で選んだ出力設定に対して入力モード表示の右側に「♪」が表示され、表示側の音声が出力されます。
- Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）で受像した2k1k信号は2画面では表示できません。

オンスクリーンメニューについて

	リモコン	本体

1 メニュー画面を表示する

押して選ぶ

（例：画質の調整メニュー）

MENU 数回押す

押すたびにメニュー画面が切り換わります。

通常画面→画質の調整→初期設定
音声の調整←画面位置／サイズ

2 設定項目を選択する

（例：画質の調整メニュー）

選ぶ

❷ 押す。

❶ 選ぶ。

3 設定する

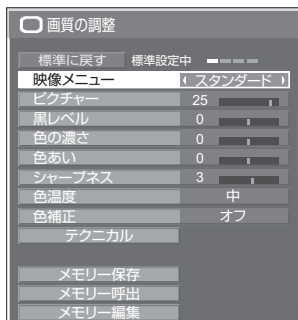
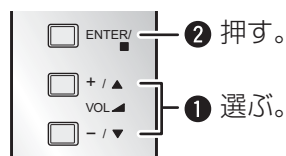
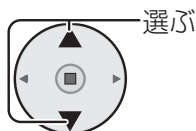
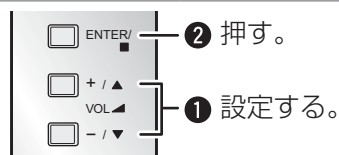
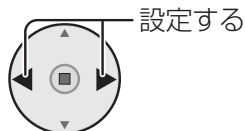
設定する

❷ 押す。

❶ 設定する。

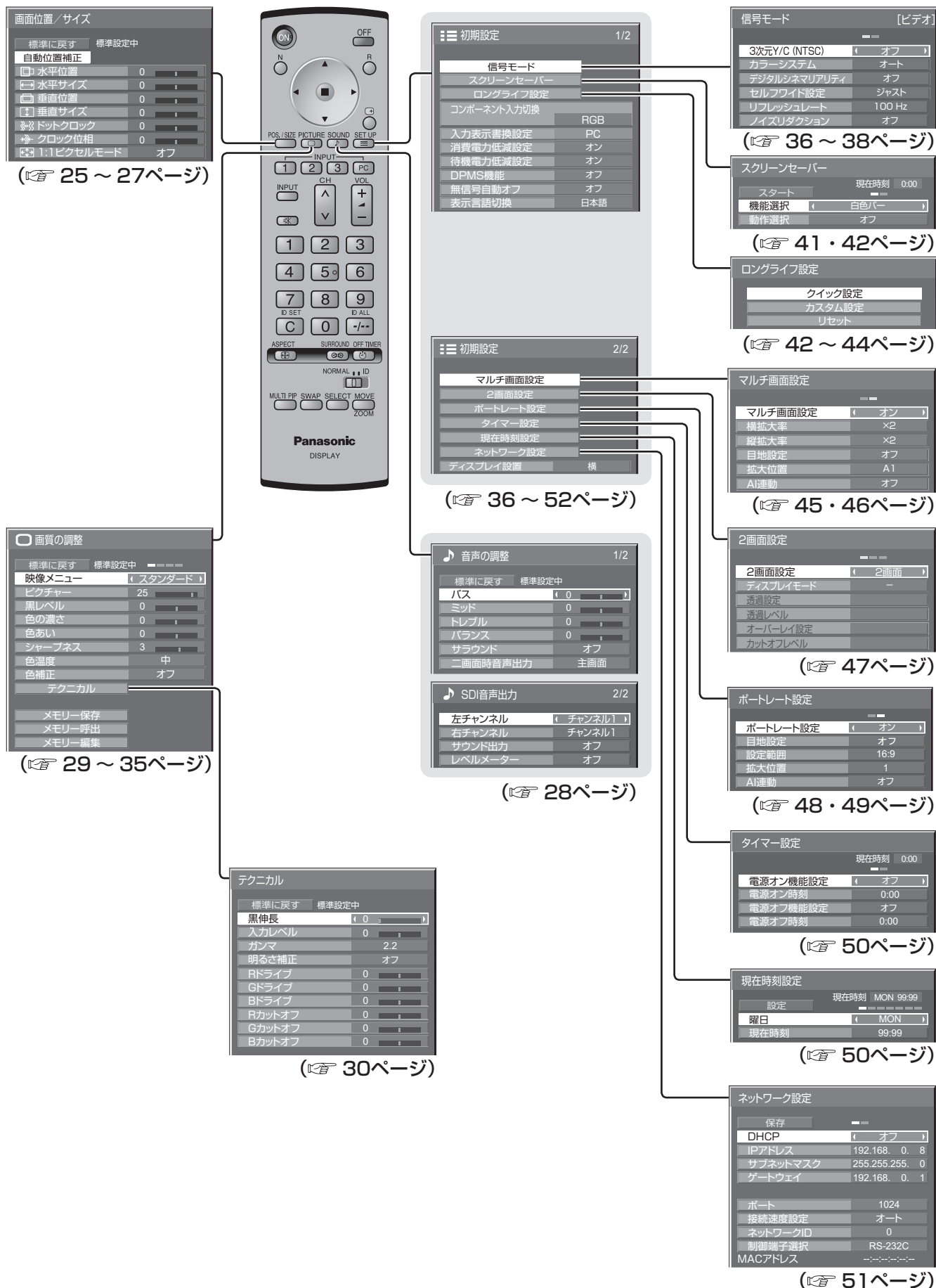
4 設定を終了する

押す

数回押す

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

オンスクリーンメニューについて

メニュー画面一覧

● 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

画面位置 / サイズの調整（POS./SIZE）

1 POS. / SIZE 押して「画面位置／サイズ」メニュー画面を表示する。

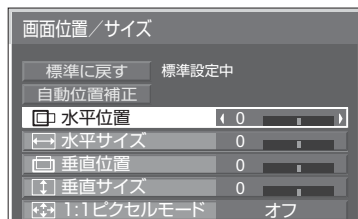
2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定をする。

4 POS. / SIZE 押して設定を終了する。

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

● **「画面位置／サイズ」メニュー画面**

ビデオ(Sビデオ) ／ DVI ／ SDI ／ HDMI入力時

コンポーネント（色差）ビデオ信号／ RGB ／ PC IN入力時

お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。
信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す 標準に戻す 標準設定中

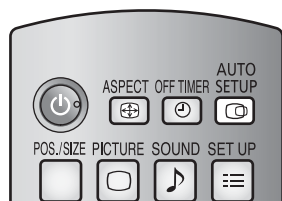
メニュー表示中に N を押す、または「標準値に戻す」を選んでいるときに ■ を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

自動位置補正

パソコンまたはRGB信号入力時に「水平／垂直位置」､「水平／垂直サイズ」､「ドットクロック」､「クロック位相」を自動補正します。
本設定は以下の条件で動作します。
・本設定は、1画面表示のときのみ動作します。2画面やマルチ画面時には動作しません。
・初期設定（SET UP）の「コンポーネント入力切換」または「YUV ／ RGB切換」（☞ 37ページ）が「RGB」のときに本設定が有効になります。
・パソコンフォーマットの信号でない場合、「オーバースキャン」（☞ 26ページ）が「オフ」または「1:1ピクセルモード」（☞ 27ページ）が「オン」のときのみ本設定が有効になり、「水平／垂直サイズ」は自動補正しません。
また、次の場合には本設定は無効になり、動作しません
・画面モードが「ジャスト」や「サイドカットジャスト」のとき
・Optionsメニューの「Display size」（☞ 56ページ）を「On」に設定しているとき

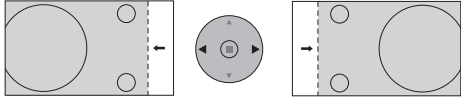
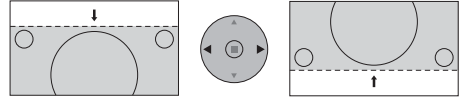
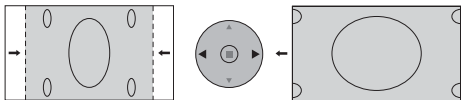
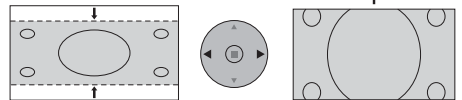
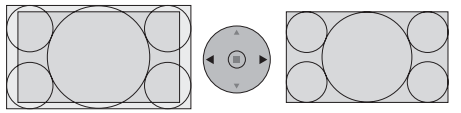
パソコンまたはRGB信号の映像を表示中に

「自動位置補正」を選び、 （ENTER/■）**を押す。**

リモコンで操作する

お知らせ 本機能をご使用になるには、
別売のリモコン（品番：N2QAYB000423）が必要です。

AUTO SETUP **を押すと自動位置補正が動作します。**
自動位置補正が無効の場合は「無効操作」と表示します。

■Autoモード

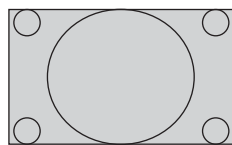
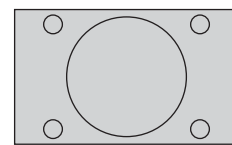
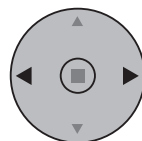
Optionsメニューの｢Auto Setup｣を｢Auto｣に設定すると､次の場合に自動位置補正が動作します。(☞ 57ページ)
・ディスプレイの電源を「入」にしたとき
・入力信号が切り換わったとき

画面位置 / サイズの調整（POS./SIZE）

お知らせ
- ドットクロック162 MHz以上の信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- デジタルRGB信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力して自動位置補正をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、自動位置補正をしてください。
- 信号によっては自動位置補正後にもズレが生じる場合がありますので、必要に応じて位置／サイズなどの微調整をおこなってください。
- 垂直周波数60Hz XGA信号（1024×768@60Hz、1280×768@60Hz、1366×768@60Hz）で自動位置補正が最適にならない場合、あらかじめ「XGAモード」（☞37ページ）で 個別信号を選択設定しておくと、適切に自動位置補正できる場合があります。
- 有効映像期間外に付加情報などの信号が重畳されている場合や同期信号と映像信号の時間間隔が短い場合、あるいは、3値同期信号が付加された映像信号などには自動位置補正はうまく動作しません。

お願い
- 自動位置補正で適切な調整にならない場合は、一度「標準に戻す」を選び、■ を押した後、手動で位置／サイズなどの調整をおこなってください。

項目	内容
水平位置	画面を左右に移動します。
垂直位置	画面を上下に移動します。
水平サイズ	画面を左右に拡大／縮小します。
垂直サイズ	画面を上下に拡大／縮小します。
ドット クロック	縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。
クロック位相（RGB/PC入力時）	RGB信号やパソコン信号を入力した場合に画面の輪郭に、にじみやぼけが発生することがあります。もっと見やすくなるよう調整してください。
オーバー スキャン	画像のオーバースキャンをオン／オフします。 設定が可能な信号は以下の通りです。 525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p（コンポーネント（色差）ビデオ、RGB、DVI、SDI、HDMI） 「オン」　「オフ」 お知らせ ● 「オフ」に設定した場合は、水平サイズと垂直サイズは調整できません。 ● Optionsメニューの「Display size」が「On」のとき、本設定は無効になります。（☞ 56ページ）

1:1 ピクセルモード

1125i、1125pや1250iのとき、画面サイズを調整します。

「オフ」　「オン」

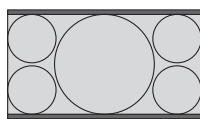
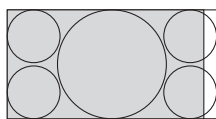
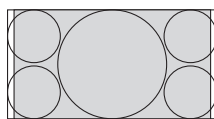
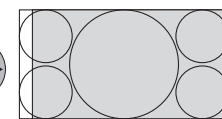
対応する入力信号

1125（1080）/50i、60i、24sF、24p、25p、30p、50p、60p、1250（1080）/50i

- 映像の周囲にノイズ状のものが見えるときは「オフ」設定にしてください。
- 「オン」に設定の場合は、水平サイズ、垂直サイズは調整できません。

1:1 ピクセルモード (2k1k)

（2k1k信号の場合）

入力信号が2k1k信号（2048×1080/24p、2048×1080/24sF）のとき、
画面サイズは次のように調整されます。

「オフ」　「オン（左）」　「オン（中央）」　「オン（右）」

お知らせ　2k1k信号は、Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）装着時のみ受像可能となります。

お知らせ

- 2画面のときは調整できません。
- 調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。
- セルフワイドで映像拡大中に垂直位置、垂直サイズを調整しても記憶しません。（☞ 20ページ）
- 入力される信号によっては別売オプション端子ボードが必要になります。

音声の調整（SOUND)

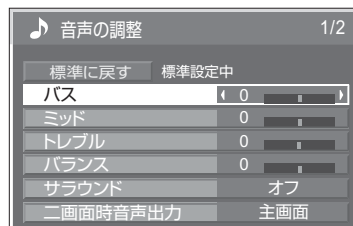
1 SOUND ♪ 押して「音声の調整」メニュー画面を表示する。

2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定する。

4 SOUND ♪ 押して設定を終了する。

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

● **「音声の調整」メニュー画面**

標準に戻す 標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中にNを押す、または「標準値に戻す」を選んでいるときに ■ を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

■ バス／ミッド／トレブル／バランス

バス	0	……低音を調節します。
ミッド	0	……中音域を調節します。
トレブル	0	……高音を調節します。
バランス	0	……左右の音量を調節します。

■ サラウンド

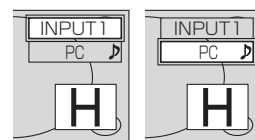
サラウンド オフ ……**オフ** ：通常の音声。
オン ：臨場感のある音声。

お知らせ サラウンドはリモコンの SURROUND でも「オン」、「オフ」の設定ができます。（☞17ページ）

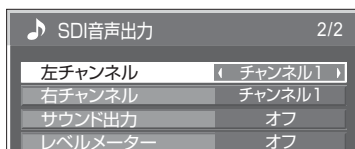
■ 2画面時音声出力

2画面のとき聞きたい画面の音声を選びます。

2画面時音声出力 主画面 ……**主画面**
副画面

● **2画面時音声出力は**
・2画面から1画面にすると主画面の音声に戻ります。
・選んだ出力設定に対して入力信号表示の右側に「♪」が表示されます。

SDI音声出力

本メニューは、HD-SDI端子ボード（音声対応）（TY-FB10HD）またはDual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）が装着されている場合に表示されます。

● **「SDI音声出力」メニュー画面**

お知らせ
● 本メニューは、HD-SDI端子ボード（音声対応）（TY-FB10HD）またはDual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）が装着されているスロットを選択している時のみ設定できます。
● 2画面中はSDI音声出力の設定はできません。

左チャンネル	**チャンネル1 ～ 16**	左チャンネルの音声チャンネルを選択します。
右チャンネル	**チャンネル1 ～ 16**	右チャンネルの音声チャンネルを選択します。
サウンド出力	**オフ**：SDI音声を出力しません。 **オン**：SDI音声を出力します。	
レベルメーター	**オフ** **1-8ch** **9-16ch**	ディスプレイに表示する音声レベルメーターの音声チャンネルを設定します。音声レベルメーターは、ディスプレイの左右に4チャンネルずつ、計8チャンネル表示します。「オフ」にすると音声レベルメーターを表示しません。

画質の調整（PICTURE）

1 PICTURE 押して「画質の調整」メニュー画面を表示する。

2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定する。

4 PICTURE 押して設定を終了する。

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

お知らせ　調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

●「画質の調整」メニュー画面

ビデオ(Sビデオ) ／コンポーネント（色差）ビデオ信号入力時

RGB ／パソコン信号／DVI入力時

画質の調整
標準に戻す　標準設定中
映像メニュー　スタンダード
ピクチャー　25
黒レベル　0
シャープネス　3
色温度　中
色補正　オフ
テクニカル

標準に戻す　標準に戻す　標準設定中

メニュー表示中に N を押す、または「標準値に戻す」を選んでいるときに ■ を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

■ 映像メニュー

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。

映像メニュー　スタンダード ……**スタンダード**：標準的な明るさで使用する場合に適した画像になります。

ダイナミック：明るい場所で使用する場合に適した画像になります。

シネマ：映画を見る場合に適した画像になります。（映画館のような、暗い画面で階調性を重視した画像）

モニター：放送局や映画コンテンツの作成用途に適しています。画面全体の平均輝度（APL）が変化しても、同じ信号レベルであれば明るさが変化しない画像になります。

お知らせ　「映像メニュー」を「モニター」にすると、以下のメニューは設定できません。

画質の調整：	ピクチャー
初期設定：	消費電力低減設定（☞ 39ページ）
ロングライフ設定：	ピーク制限（☞ 43ページ）
マルチ画面設定：	AI連動（☞ 46ページ）
ポートレート設定：	AI連動（☞ 49ページ）

■ ピクチャー

映像の明暗度を調整します。

ピクチャー　25

暗く ◀ ▶ 明るく

■ 黒レベル

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

黒レベル　0

■ 色の濃さ

色の濃さ　0

淡く ◀ ▶ 濃く

■ 色あい

肌色部分の色あいを調整します。

色あい　0

赤紫色がかった色に ◀ ▶ 緑色がかった色に

■ シャープネス

映像輪郭の鮮明度を調整します。

シャープネス　3

ソフト ◀ ▶ シャープ

お知らせ

- 「映像メニュー」はINPUT1、INPUT2、INPUT3、PCごとに記憶します。2入力の端子ボード装着時は、各入力（A/B）ごとに記憶します。
- 「ピクチャー」は明るい映像のときにより明るく、また暗い映像のときにより暗く調整してもわずかしか変化しません。
- パソコン信号入力時は「色の濃さ」「色あい」は調整できません。
- 入力される信号によっては別売オプション端子ボードが必要になります。

画質の調整（PICTURE)

■色温度

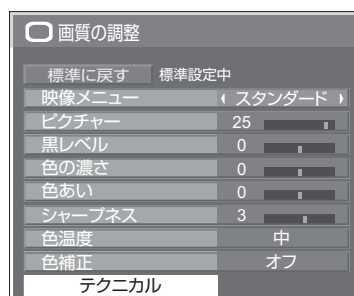
画面の色調を切り換えます。

……**低**：赤みがかった色になります。
中：中間の色温度になります。
高：青みがかった色になります。

■色補正

……**オフ**
オン：鮮やかな色に補正します。

テクニカル調整

お好みにより、さらにきめ細かな調整を行うことができます。

■ を押す

●「テクニカル」サブメニュー画面

お知らせ

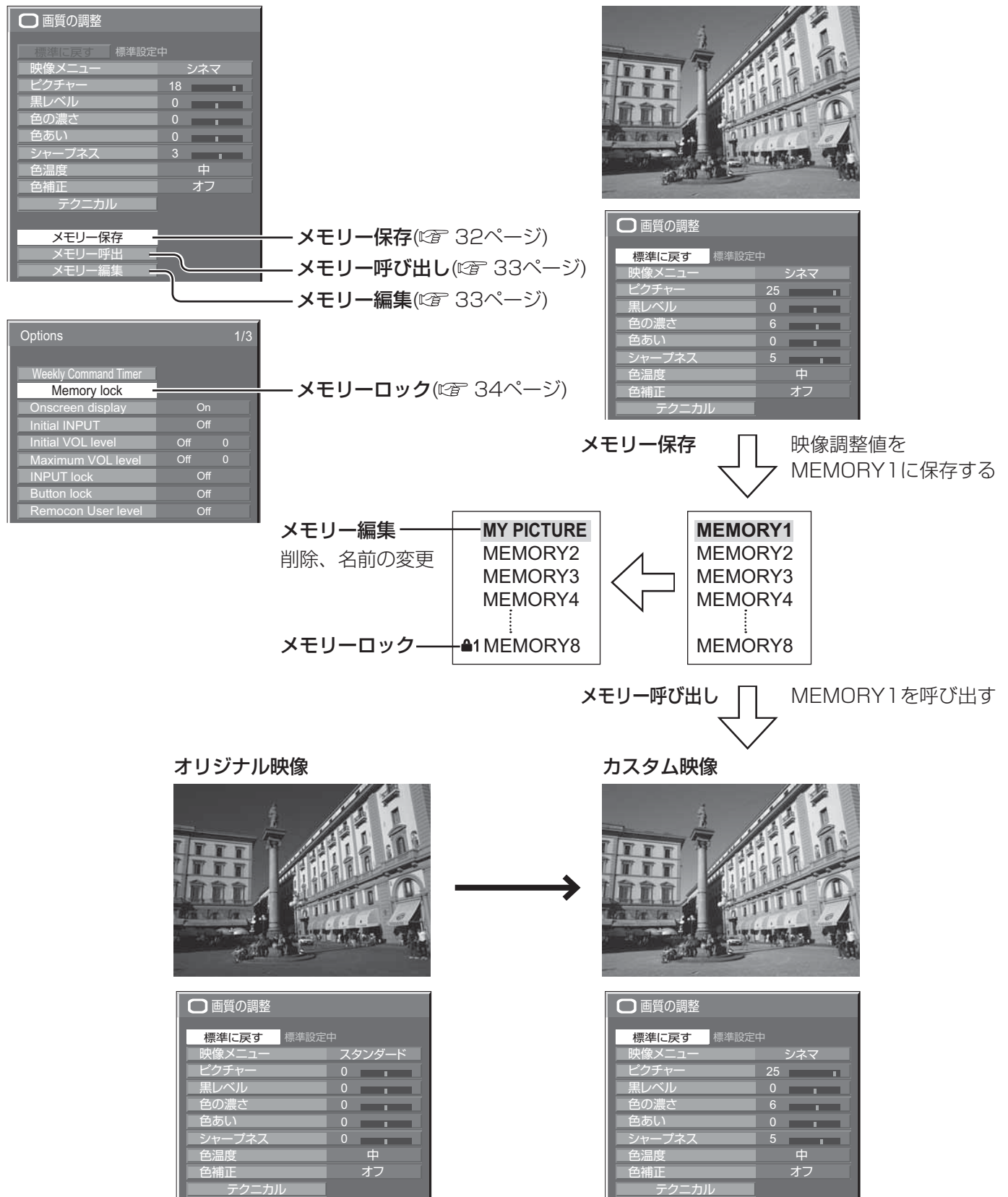
- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。
- 2画面中はテクニカル調整はできません。

標準に戻す　標準に戻す　標準設定中

メニュー表示中に N を押す、または「標準値に戻す」を選んでいるときに ■ を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

調　整　項　目	調　整　範　囲	調　整　内　容
黒伸長	0（補正なし）～8（補正強）	中間より暗い部分の階調の変化を調整します。
入力レベル	−32（レベル低）～+32（レベル高）	特に白い部分や非常に明るい部分の映像を入力信号レベルで調整します。
ガンマ	S+ カーブ ※1 S カーブ　2.0　2.2　2.5　2.6※2	明るさ感を調整します。 ※1「映像メニュー」を「ダイナミック」にしている時は、ガンマ「S+ カーブ」を選択可能となります。Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）で2k1k信号を受像しているときは「S+ カーブ」を選択することはできません。 ※2 Dual Link HD-SDI端子ボード(TY-FB11DHD)で2k1k信号を受像しているときはガンマ「2.6」も選択可能となります。
明るさ補正	オフ　　オン	「オン」にすると暗いシーンを見やすくします。
Rドライブ	−30（色温度高）～+30（色温度低）	赤色の明るい部分の強弱を調整します。
Gドライブ	−30～+30	緑色の明るい部分の強弱を調整します。
Bドライブ	−30（色温度低）～+30（色温度高）	青色の明るい部分の強弱を調整します。
Rカットオフ	−30（色温度高）～+30（色温度低）	赤色の暗い部分の強弱を調整します。
Gカットオフ	−30～+30	緑色の暗い部分の強弱を調整します。
Bカットオフ	−30（色温度低）～+30（色温度高）	青色の暗い部分の強弱を調整します。

メモリー機能を使う

8通りの映像調整値（「画質の調整」メニューと「テクニカル」）をメモリーに保存し、必要なときに呼び出してお気に入りの映像をお楽しみいただけます。

メモリー機能を使う

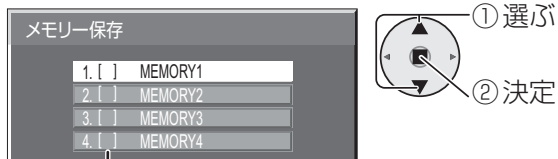
メモリーを保存する

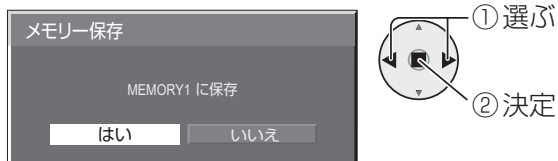
映像調整値をメモリーに保存します。

(お知らせ)「ロングライフ設定」で設定ロック中のとき、メモリーの保存はできません。

1 「画質の調整」メニューと「テクニカル」で、画質を設定する。(☞ 29・30ページ)

2 「画質の調整」メニューで「メモリー保存」を選ぶ。

3 映像調整値を保存するメモリー名を選ぶ。

ロック設定を示すアイコンが表示されます。
(☞ 34ページ)
[ ]、[🔓]：メモリーを保存できます。
[🔒1]、[🔒2]：メモリーを保存できません。

4 「はい」を選ぶ。

5 メモリー名を入力する。

[メモリー名の入力方法]
メモリー名は最大16文字まで設定できます。
画面上に表示されたキーボードで文字を選んで文字を入力します。
文字入力ボックスには、すでにメモリー名が入力されています。必要に応じてメモリー名を変更してください。

①選ぶ
②決定

例：「MY PICTURE」に設定する

①「全削除」を選ぶ。

MEMORY1█

文字が全て削除されます。

文字を1文字削除するには「1文字削除」を選びます。

②「M」を選ぶ。

M█

この操作を繰り返し、文字を入力します。

③「Y」を選ぶ。

MY█

④「空白」を選ぶ。

MY █

6 メモリー名の入力が終わったら「確定」を選ぶ。

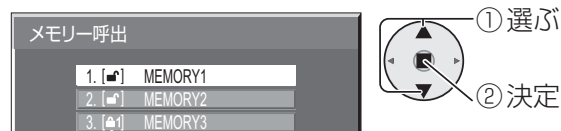
「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。

メモリーを呼び出す

メモリーを呼び出し、ディスプレイに映像調整値を適用します。

お知らせ
- 呼び出したメモリーは選択されているスロット（SLOT1、SLOT2、SLOT3、PC IN)ごとに記憶されます。(☞ 17ページ)
- 「ロングライフ設定」で設定ロック中のとき、メモリーの呼び出しはできません。

1 「画質の調整」メニューで「メモリー呼出」を選ぶ。

2 呼び出すメモリーを選ぶ。

ロック設定を示すアイコンが表示されます。
(☞ 34ページ)

メモリーを編集する

メモリーを削除またはメモリー名を変更します。

■メモリーを削除する

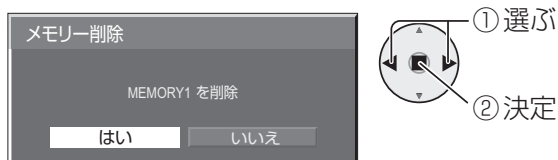
お知らせ　ロックされているメモリーは削除できません。

1 「画質の調整」メニューで「メモリー編集」を選ぶ。

2 「メモリー削除」を選ぶ。

3 削除するメモリーを選ぶ。

全てのメモリーを削除するには「メモリー全削除」を選びます。

4 「はい」を選ぶ。

■メモリー名を変更する

お知らせ　ロックされているメモリーは名前を変更できません。

1 「画質の調整」メニューで「メモリー編集」を選ぶ。

2 「メモリー名変更」を選ぶ。

3 名前を変更するメモリーを選ぶ。

4 メモリー名を入力する。

メモリー名の入力方法（☞ 32ページ）

5 メモリー名の入力が終わったら「確定」を選ぶ。

「キャンセル」を選ぶとメモリー名の変更をキャンセルします。

確定　キャンセル

メモリー機能を使う

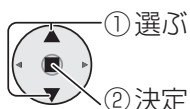
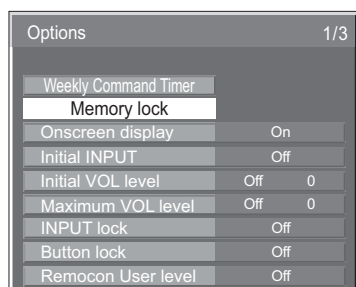
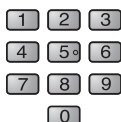
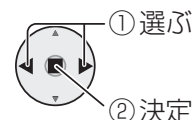
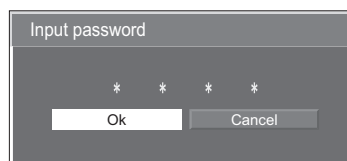
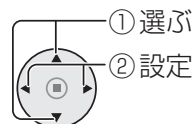
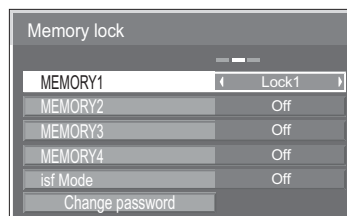
メモリーをロックする

保存メモリーにロックをかけて、呼び出したメモリーの操作を制限します。また、パスワードの設定をします。

お知らせ
- 「ロングライフ設定」でロック設定中のとき、メモリーのロックはできません。
- メモリーをロックすると「ロングライフ設定」のメニュー操作が制限されます。(☞ 43ページ)

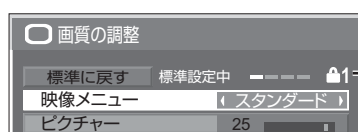
■メモリーをロック／解除する

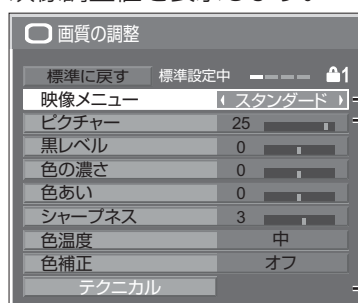
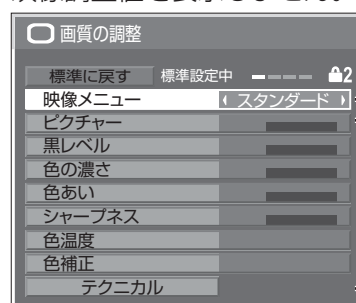
1 「OPTIONS」メニューを表示する。
(☞ 53ページ)

2 「Memory lock」を選ぶ。

3 4桁のパスワードを入力する。
初期パスワードは「0123」です。

4 「Ok」を選ぶ。

5 メモリーを選び、ロック機能を設定する。

6 設定を終了する。

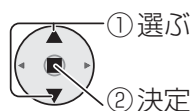
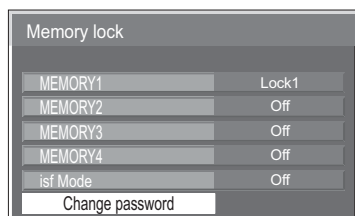
ロック機能を設定すると、呼び出したメモリーに下記の操作制限をします。

設定	メモリーを編集する（メモリー編集）	映像調整値をメニューで変更する（映像メニュー、テクニカル）	映像調整値を他のメモリーに保存する（メモリー保存）
Off（ロック解除）	許可	許可	許可
Lock1	禁止	禁止（映像調整値を表示）	許可
Lock2	禁止	禁止（映像調整値を表示しない）	禁止

ロックされているメモリーを呼び出したとき…
「画質の調整」メニューにロック設定を示すアイコンが表示されます。

「画質の調整」メニューの映像調整値を変更することはできません。ただし、「映像メニュー」のみ変更可能です。
「映像メニュー」を変更すると、「ピクチャー」や「黒レベル」など、他の映像調整値を変更可能になります。

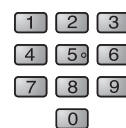
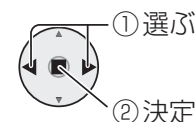
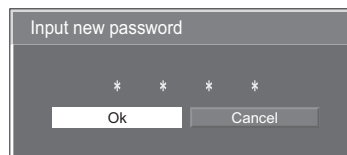
1 Lock1
映像調整値を表示します。

2 Lock2
映像調整値を表示しません。

■パスワードを変更する

1 「メモリーをロック／解除する」の手順1 ～ 4をおこなう。

2 「Change password」を選ぶ。

3 新しい4桁のパスワードを入力する。

4 「Ok」を選ぶ。

Input new password
* * * *
Ok Cancel

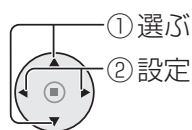
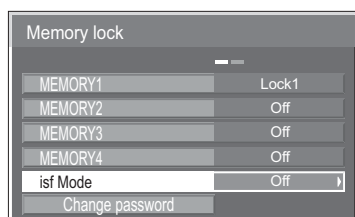
①選ぶ
②決定

5 設定を終了する。

(お知らせ) 変更したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。

■isf Modeの設定

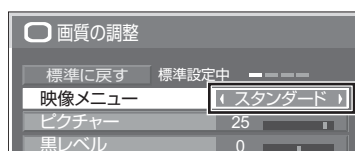
「映像メニュー」のモード表示を切り替えます。

1 「メモリーをロック／解除する」の手順1 ～ 4をおこなう。

2 「isf Mode」を選ぶ。

3 「On」または「Off」に設定する。

4 設定を終了する。

「isf Mode」を「On」に設定すると、「映像メニュー」のモード表示は下記のように切り替わります。

「映像メニュー」のモード表示

isf Mode：Off	isf Mode：On
スタンダード ダイナミック シネマ モニター	スタンダード ｉｓｆモードデイ ｉｓｆモードナイト モニター

初期設定（SET UP）

1 SET UP 押して「初期設定」メニュー画面を表示する。

2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定する。

4 SET UP 押して設定を終了する。

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

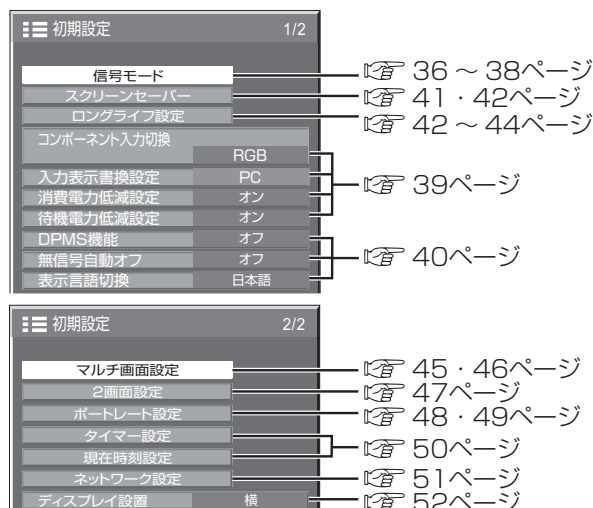
● **初期設定メニュー画面**

☞ 36～38ページ
☞ 41・42ページ
☞ 42～44ページ
☞ 39ページ
☞ 40ページ
☞ 45・46ページ
☞ 47ページ
☞ 48・49ページ
☞ 50ページ
☞ 51ページ
☞ 52ページ

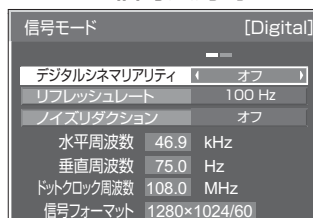
信号モード

初期設定 1/2
信号モード
スクリーンセーバー
ロングライフ設定
コンポーネント入力切換 RGB

■ を押す

お知らせ 入力される信号によっては別売オプション端子ボードが必要になります。

●「信号モード」サブメニュー画面

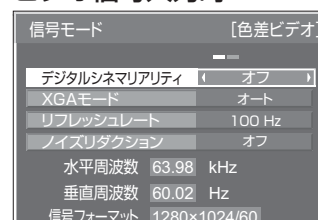
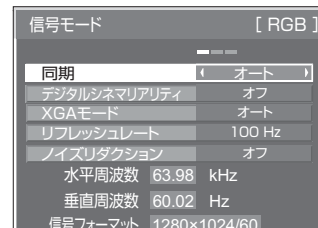
ビデオ(Sビデオ)入力時

デジタル信号入力時

信号モード [Digital]
デジタルシネマリアリティ オフ
リフレッシュレート 100 Hz
ノイズリダクション オフ
水平周波数 46.9 kHz
垂直周波数 75.0 Hz
ドットクロック周波数 108.0 MHz
信号フォーマット 1280×1024/60

コンポーネント(色差)ビデオ信号入力時

信号モード [色差ビデオ]
デジタルシネマリアリティ オフ
XGAモード オート
リフレッシュレート 100 Hz
ノイズリダクション オフ
水平周波数 63.98 kHz
垂直周波数 60.02 Hz
信号フォーマット 1280×1024/60

RGB / パソコン信号入力時

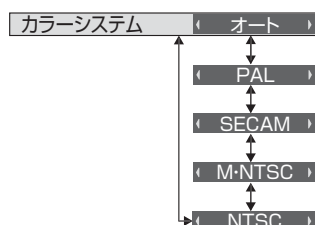
信号モード [RGB]
同期 オート
デジタルシネマリアリティ オフ
XGAモード オート
リフレッシュレート 100 Hz
ノイズリダクション オフ
水平周波数 63.98 kHz
垂直周波数 60.02 Hz
信号フォーマット 1280×1024/60

■3次元 Y/C (NTSC)

ビデオ信号入力時、動いている映像が不自然に見えるときに設定します。
通常は「オン」でご覧ください。

3次元Y/C (NTSC) オン ↕ オフ

お知らせ NTSC方式の映像を映しているときに有効です。

■カラーシステム

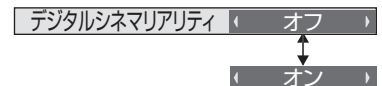
ビデオまたはSビデオ信号入力時、信号方式が合わず正常な映像にならない場合に方式選択します。

…… NTSC/PAL/SECAM の中から自動選択しますが、装着している端子ボードの種類により、M・NTSCは正しく映らない場合があります。
M・NTSCの映像をご覧になるときは、M・NTSCに設定してください。

● 通常は「オート」に設定します。入力された信号の方式を自動的に判別します。
● 入力信号が劣化してノイズが多い、または信号レベルが低いときに「オート」に設定すると正常に表示されない場合があります。そのときは入力信号の方式に合わせて設定してください。

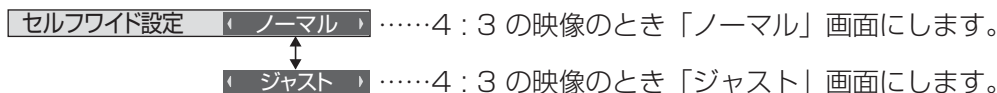
信号方式	水平走査周波数（kHz）	垂直走査周波数（Hz）	色副搬送波（MHz）
NTSC	15.73	59.94	3.58
PAL	15.63	50.00	4.43
PAL60※	15.73	59.94	4.43
SECAM	15.63	50.00	4.25 または 4.41
M・NTSC	15.73	59.94	4.43

※PAL60の映像をご覧になるとき、デュアルビデオ端子（BNC）ボード（TY-FB9BD）を装着時は「PAL」を選択してください。その他のビデオ端子ボードを装着時は「M・NTSC」を選択してください。

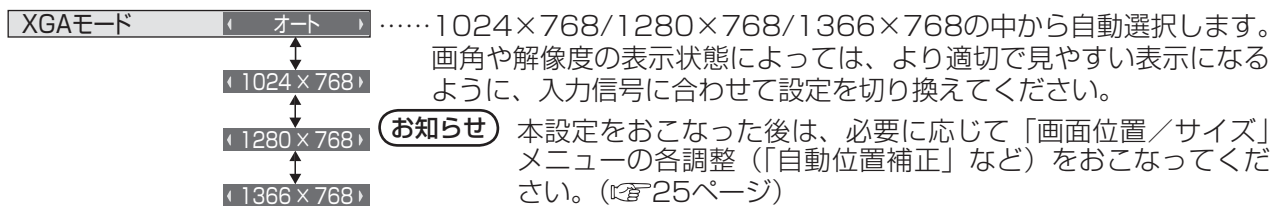
■ デジタルシネマリアリティ

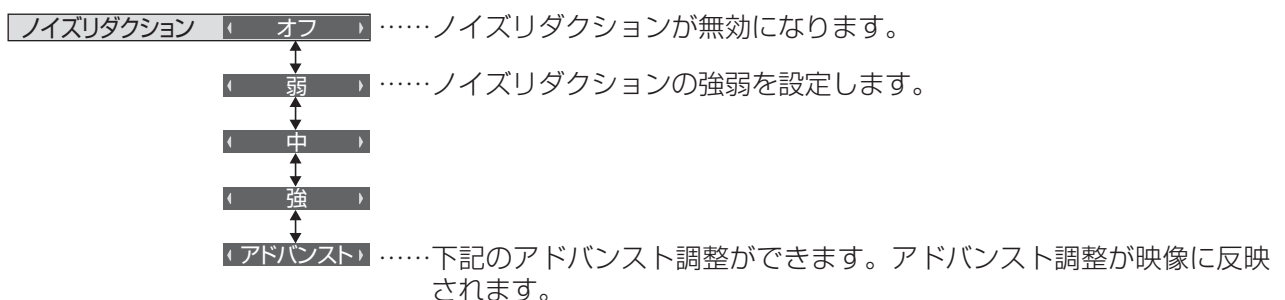
映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生します。
※ 通常は「オフ」に設定してください。

お知らせ
- デジタルシネマリアリティを「オン」にすると、映画など、毎秒24コマで撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧になれます。
- 「オン」で不自然な映像になる場合は「オフ」でご覧ください。
- ビデオ(Sビデオ)入力時、NTSCおよびPAL信号に効果があります。
- コンポーネント（色差）ビデオ入力時、525i（480i)、1125（1080）/60i、625i（575i）信号に効果があります。

■ セルフワイド設定

4：3 の映像をそのままの画面サイズで見るか「ジャスト」画面で見るかを設定します。

お知らせ　デュアルビデオ端子（BNC）ボード（TY-FB9BD）を装着したスロットを選択している場合、セルフワイド機能は使用できません。

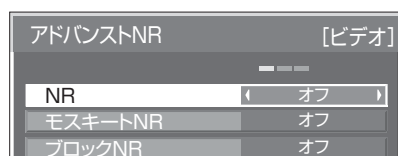
■ XGAモード

本メニューは、アナログ信号（コンポーネント/PC）入力時に表示されます。
本機は、画角/サンプリングが異なる3種類の垂直周波数60Hz XGA信号（1024×768@60Hz、1280×768@60Hz、1366×768@60Hz）に対応しています。

■ ノイズリダクション

以下の3種類のNR（ノイズリダクション）機能をまとめて設定します。
NR、モスキートNR、ブロックNR

お知らせ　パソコン信号入力のときは「ノイズリダクション」がグレー表示になり設定できません。

アドバンスト調整

3つのNR機能を個別に設定します。

「アドバンストNR」サブメニュー画面

NR：映像のざらつき感を少なくします。
モスキートNR：MPEG映像の文字部分の周辺に現れるモスキートノイズを軽減します。
ブロックNR：MPEG映像の動画部分に現れるブロックノイズを軽減します。

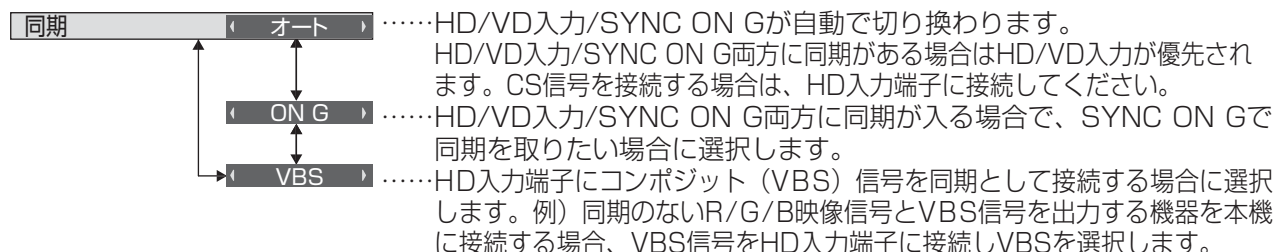
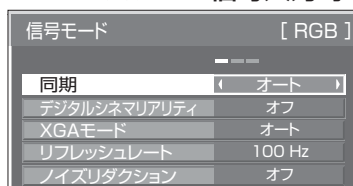
初期設定（SET UP）

■ 同期

●RGB / パソコン信号入力時

……HD/VD入力/SYNC ON Gが自動で切り換わります。HD/VD入力/SYNC ON G両方に同期がある場合はHD/VD入力が優先されます。CS信号を接続する場合は、HD入力端子に接続してください。

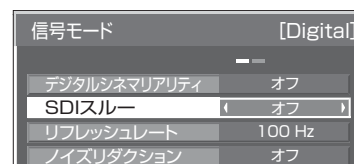
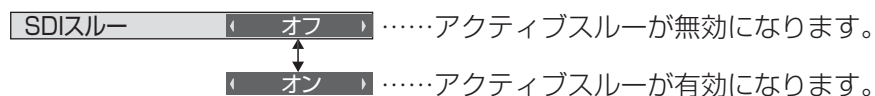
……HD/VD入力/SYNC ON G両方に同期が入る場合で、SYNC ON Gで同期を取りたい場合に選択します。

……HD入力端子にコンポジット（VBS）信号を同期として接続する場合に選択します。例）同期のないR/G/B映像信号とVBS信号を出力する機器を本機に接続する場合、VBS信号をHD入力端子に接続しVBSを選択します。

お知らせ　COMPONENT/RGB IN端子に入力のRGB信号はSYNC ON Gのみに対応しています。

■ SDIスルー

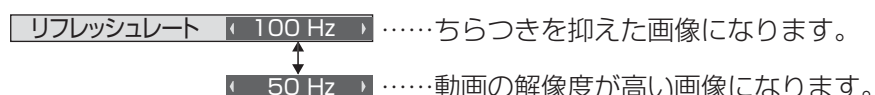
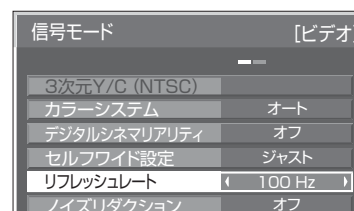
本メニューはDual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）を装着したスロットを選択している時のみ設定できます。Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）のアクティブスルー機能を設定します。

……アクティブスルーが無効になります。

……アクティブスルーが有効になります。

■ リフレッシュレート

ディスプレイのリフレッシュレートを設定します。本メニューは、垂直同期周波数が50Hz系（50i、50p、25p、24p、24sF）の信号入力時に表示されます。

……ちらつきを抑えた画像になります。

……動画の解像度が高い画像になります。

お知らせ　通常は「100Hz」に設定されることをおすすめします。

■ 入力信号表示（コンポーネント、RGB/パソコン、デジタル信号入力時）

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

……表示範囲：水平走査周波数（15 kHz ～ 110 kHz）
垂直走査周波数（48 Hz ～ 120 Hz）

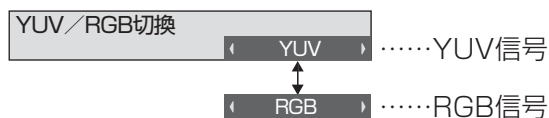
デジタル信号入力時には、ドットクロック周波数を表示します。

コンポーネント入力切換

コンポーネント／ RGB入力（COMPONENT/RGB IN）端子または、PC IN 端子に接続された信号に合わせて設定します。

お知らせ
- 入力スロット（SLOT1、SLOT2、SLOT3）、PC IN入力端子ごとに設定してください。
- 端子ボード（別売オプション）によっては設定できない場合があります。

YUV ／ RGB切換

本メニューは、DVI信号入力時に表示されます。選択したスロットのDVI入力信号の方式に合わせて設定します。

お知らせ
- 入力スロット（SLOT1、SLOT2）ごとに設定してください。
- 端子ボード（別売オプション）によっては設定できない場合があります。

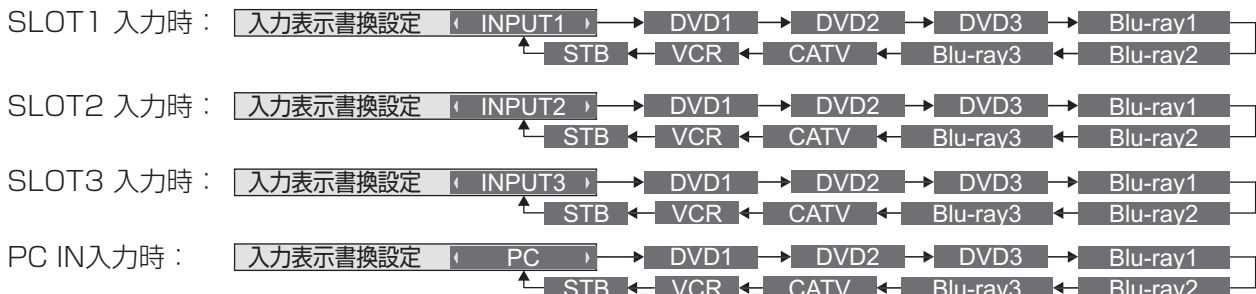
入力表示書換設定

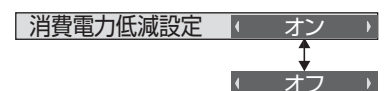
入力スロット（SLOT1、SLOT2、SLOT3）に接続した端子ボードの信号名とPC IN入力端子の信号名を変更します。
まず、入力切換ボタンで書き換えたいスロットを選んだ後設定してください。

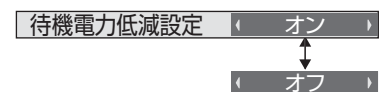
SLOT1 入力時： 入力表示書換設定 INPUT1 → DVD1 → DVD2 → DVD3 → Blu-ray1 → Blu-ray2 → Blu-ray3 → CATV → VCR → STB → INPUT1

SLOT2 入力時： 入力表示書換設定 INPUT2 → DVD1 → DVD2 → DVD3 → Blu-ray1 → Blu-ray2 → Blu-ray3 → CATV → VCR → STB → INPUT2

SLOT3 入力時： 入力表示書換設定 INPUT3 → DVD1 → DVD2 → DVD3 → Blu-ray1 → Blu-ray2 → Blu-ray3 → CATV → VCR → STB → INPUT3

PC IN入力時： 入力表示書換設定 PC → DVD1 → DVD2 → DVD3 → Blu-ray1 → Blu-ray2 → Blu-ray3 → CATV → VCR → STB → PC

消費電力低減設定

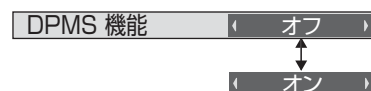
「オン」にすると本ディスプレイパネルの発光レベル（APL）を抑えて消費電力を低減します。

待機電力低減設定

「オン」にすると電源スタンバイのときの消費電力を減らして、待機電力を低減します。

お知らせ 「オン」のときは、「オフ」より電源「入」時に画面が表示するまでに時間がかかることがあります。

初期設定（SET UP）

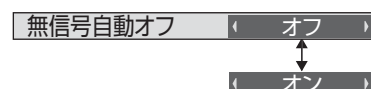
DPMS機能

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。
PC IN入力時に約30秒間、映像（HD/VD同期信号）が検知されないとき
➡電源「切」（スタンバイ） 電源ランプ：橙色点灯
その後、映像（HD/VD同期信号）が検知されると
➡電源「入」 電源ランプ：緑色点灯

DPMS 機能　オフ
↕
オン

(お知らせ)
● PC IN入力時のみ動作します。
● 別売オプションのPC入力端子ボード（TY-42TM6P）には対応しておりません。
● 「信号モード」の「同期」が「オート」、「コンポーネント入力切換」が「RGB」で、1画面表示のときのみ動作します。(☞ 38・39ページ)

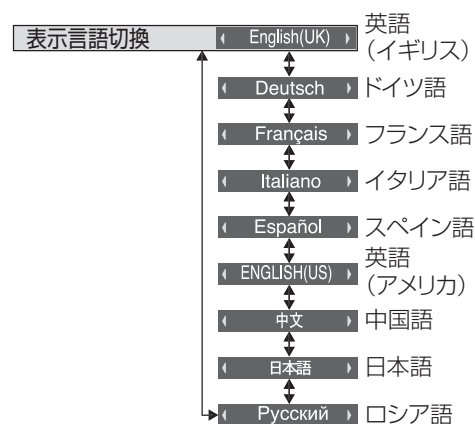
無信号自動オフ

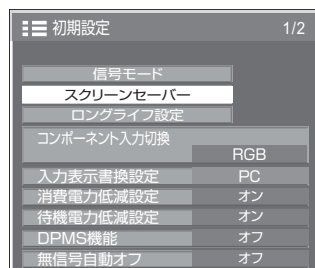
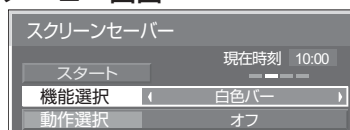
「オン」にすると入力スロット（SLOT1、SLOT2、SLOT3）の信号を選択時に約10分間、入力同期信号が無いと自動的に電源が切れます。

無信号自動オフ　オフ
↕
オン

(お知らせ) 1画面の表示のときのみ動作します。

表示言語切換

選択された言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などを表示します。

(お知らせ) 電源オフまたは約60秒間操作しない場合は、設定を終了します。

スクリーンセーバー

静止画や4：3 表示画像を長時間映す場合に残像（焼き付き現象）の発生を軽減します。

●「スクリーンセーバー」サブメニュー画面

スクリーンセーバーの設定

■スクリーンセーバーの動作を設定する

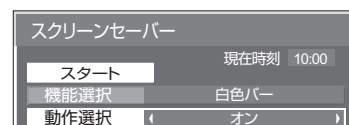
「機能選択」で動作したい機能を選択します。

機能選択 白色バー ……**色反転**　：白黒反転した映像にして、画面の残像を軽減します。
白色バー：白色バーが一定間隔で画面の左から右側へスクロール表示します。映像はディスプレイに映りません。
オーバーレイ白色バー：映像を暗くして、その上に白色バーがスクロール表示します。
全白表示：ディスプレイ全面に全白パターンを表示します。

お知らせ　2画面時に「オーバーレイ白色バー」は動作しません。

■今すぐスクリーンセーバーをスタートする

①「動作選択」で「オン」を選ぶ。

②「スタート」を選んで ■ を押す。
スクリーンセーバーが開始します。

お知らせ　●スクリーンセーバー動作中に以下のボタンを押すとスクリーンセーバーが解除されます。

リモコン：R　本体：MENU、INPUT、−/▼、+/▲、ENTER/■

●ディスプレイの電源を「切」にすると、スクリーンセーバーは解除されます。

■一定の周期ごとにスクリーンセーバーをオン／オフする

①「動作選択」で「周期指定」を選ぶ。

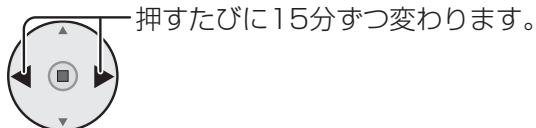
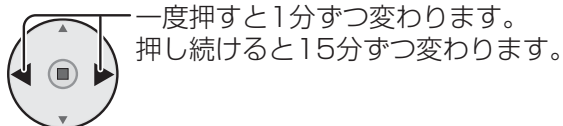
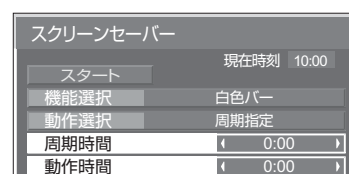
②「周期時間」を設定する。

押すたびに15分ずつ変わります。

スクリーンセーバー
現在時刻 10:00
スタート
機能選択 白色バー
動作選択 周期指定
周期時間 0:00
動作時間 0:00

周期時間
動作しない時間　動作時間

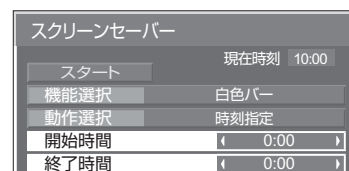
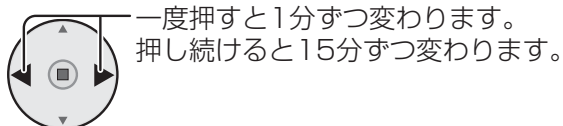
③「動作時間」を設定する。

一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

お知らせ　動作時間は周期時間より長い時間には設定できません。

■指定した時刻にスクリーンセーバーをオン／オフする

①「動作選択」で「時刻指定」を選択する。

②「開始時間」と「終了時間」を設定する。

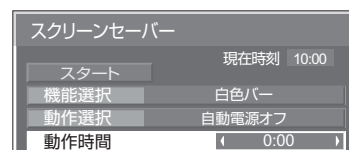
一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

スクリーンセーバー
現在時刻 10:00
スタート
機能選択 白色バー
動作選択 時刻指定
開始時間 0:00
終了時間 0:00

お知らせ　現在時刻を設定してから、開始時間と終了時間を設定してください。（☞ 50ページ）

初期設定（SET UP）

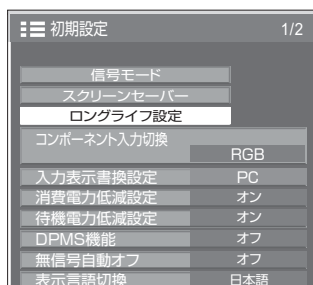
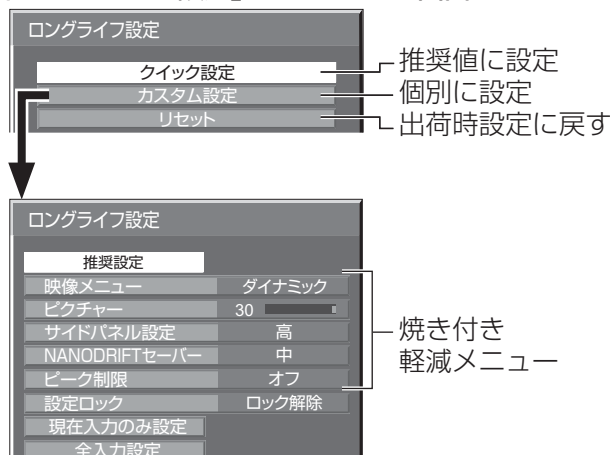
■スクリーンセーバーの後に電源を切る

①「動作選択」で「自動電源オフ」を選択する。
②「動作時間」を設定する。
一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

スクリーンセーバー
現在時刻 10:00
スタート
機能選択 白色バー
動作選択 自動電源オフ
動作時間 0:00

③「スタート」を選んで ■ を押す。
スクリーンセーバーが開始し、設定時間後に電源が「切」(スタンバイ)になります。

お知らせ 「動作時間」は0:00 ～ 23:59まで設定できます。「0:00」に設定したとき、「自動電源オフ」は動作しません。

ロングライフ設定

画面の焼き付きを軽減するための各種設定を行います。

●「ロングライフ設定」サブメニュー画面

■焼き付き軽減メニュー

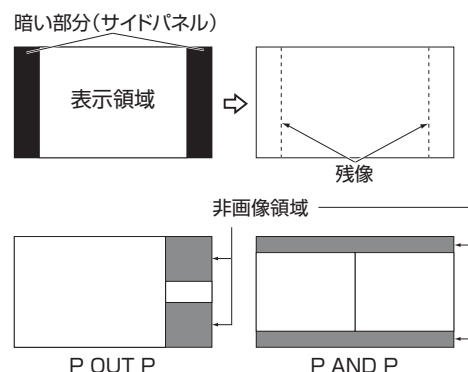
「ロングライフ設定」は、次の5つのメニュー（焼き付き軽減メニュー）を推奨値に設定したり、個別に設定できます。

映像メニュー
ピクチャー
「映像メニュー」と「ピクチャー」は「画質の調整」メニューと同じです（☞ 29ページ）。本メニューで設定した内容は「画質の調整」メニューに反映されます。

サイドパネル設定
画面モードを「ノーマル」（映像の横縦比4：3）で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像（焼き付き現象）が発生します。サイドパネルを表示することで残像発生を軽減できます。

オフ：両端を暗くしておく。
低：暗めの灰色にする。
中：灰色にする。
高：明るめの灰色にする。
● 2画面（P IN P、P AND P、P OUT P）の映像のない部分も同じく調整できます。

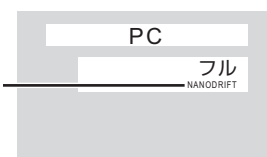
暗い部分（サイドパネル）
表示領域
残像
非画像領域
P OUT P
P AND P

お知らせ 残像発生の軽減のため「高」にしてご覧になることをおすすめします。

NANODRIFT（ナノドリフト）セーバー

画面の表示位置をわずかに移動させて、ディスプレイパネルの焼き付きを軽減します。

オフ：　NANODRIFTセーバーは動作しません。

弱〜強：NANODRIFTセーバーが動作します。一定の時間間隔で画面の表示位置移動を行います。画面の移動範囲を設定できます。この動作により、画面の一部が欠けて見える場合があります。
設定値を変更すると、位置移動によって画像が欠ける範囲をマスク表示します。

「オフ」以外に設定すると、画面モード表示の下に「NANODRIFT」と表示します。

(お知らせ) 下記の場合には本機能は動作しません。
・「マルチ画面設定」を「オン」に設定しているとき
・「ポートレート設定」を「オン」に設定しているとき
・デジタルズームモード時

ピーク制限

オン：ディスプレイパネルの焼き付き軽減のため、映像コントラスト（ピーク輝度）を抑えます。

(お知らせ) 長い時間、静止画を見ていると画面が少し暗くなることがあります。（☞ 63ページ）

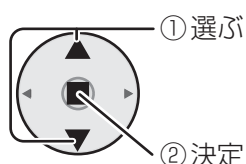
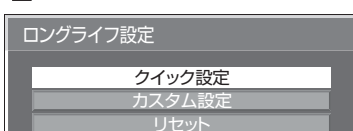
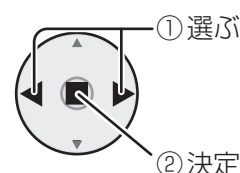
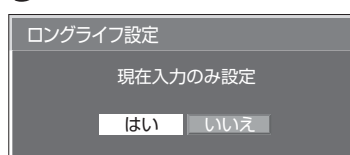
メモリーロック中のロングライフ設定

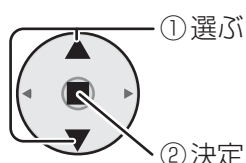
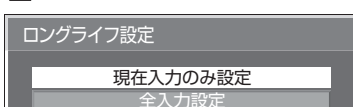
Optionsメニューの「Memory lock」でメモリーがロックされていると、本設定のメニューは以下のように操作が制限されます。「メモリーをロックする」☞ 34ページ

クイック設定：設定できません。
カスタム設定：「映像メニュー」、「ピクチャー」、「設定ロック」は設定できません。
リセット：　「映像メニュー」、「ピクチャー」はリセットされません。

■クイック設定

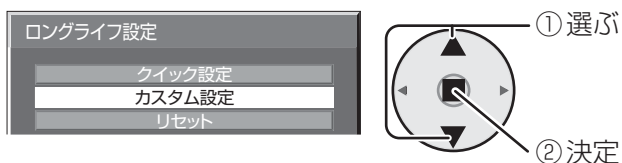
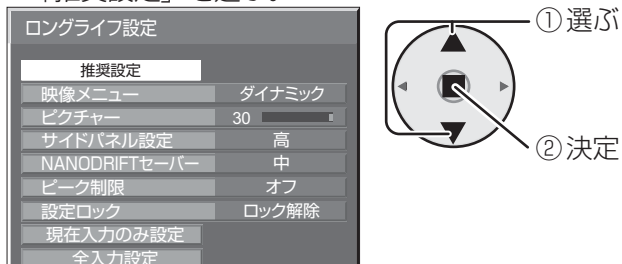
焼き付き軽減のメニューを次の推奨値に設定します。また、すべてのメニューにロックが掛かります。

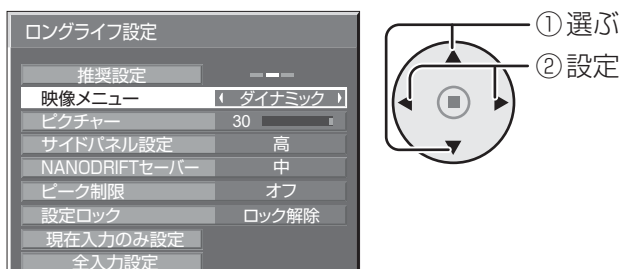
映像メニュー：スタンダード
ピクチャー：10
サイドパネル設定：高
NANODRIFTセーバー：中
ピーク制限：オン

1「クイック設定」を選ぶ。

2 設定を保存する入力を選ぶ。

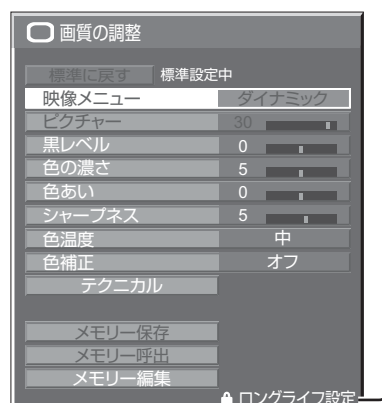
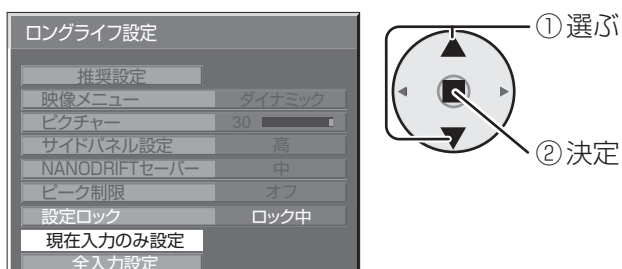
3「はい」を選ぶ。

初期設定（SET UP）

■カスタム設定

焼き付き軽減のメニューを個別に設定します。

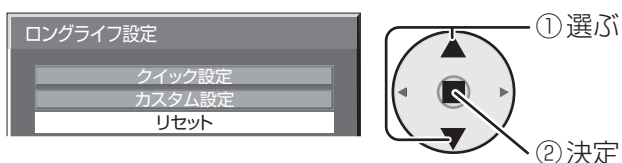
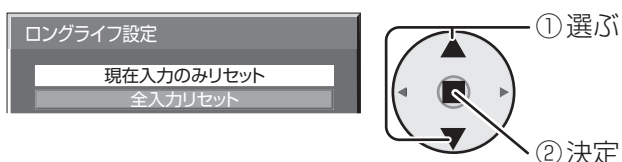
1「カスタム設定」を選ぶ。

2各メニューを推奨値に設定する場合
「推奨設定」を選ぶ。

各メニューは「クイック設定」と同じ設定値になります。

3各メニューを設定する。

4各メニューの設定をロックする場合
「設定ロック」を「ロック中」にする。

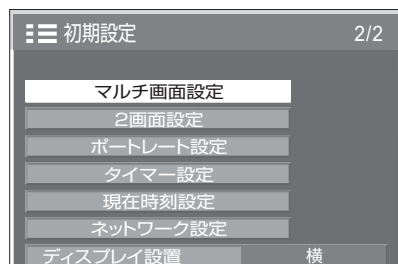
ロックが掛かると、各メニューはグレー表示になり、設定できなくなります。
「映像メニュー」と「ピクチャー」は、「画質の調整」メニューでも設定できなくなり、ロック設定を示すアイコンが表示されます。
また、「標準に戻す」、「メモリー保存」および「メモリー呼出」もできません。

5設定を保存する入力を選ぶ。

6「はい」を選ぶ。

■リセット

焼き付き軽減のメニューを工場出荷時の状態に戻します。また、各メニューのロックが解除されます。

1「リセット」を選ぶ。

2設定をリセットする入力を選ぶ。

3「はい」を選ぶ。

マルチ画面設定

横方向に1 ～ 5台と縦方向に1 ～ 5台を並べたプラズマディスプレイを1つのグループとして、拡大した映像を映します。

●「マルチ画面設定」サブメニュー画面

お知らせ
- マルチ画面設定「オフ」時に画面位置／サイズ調整（☞ 25ページ）で、同一画角に調整後、マルチ画面設定を「オン」にして再度、画面位置／サイズで画角を微調整してください。
- 画面位置／サイズ調整機能は、マルチ画面の状態で調整できます。
- マルチ画面設定を「オン」にするとポートレート設定（☞ 48ページ）はできません。

■マルチ画面設定

……拡大分割画面にしない。

……拡大分割画面にする。

- 「オン」のときは、画面のアスペクトは「フル」になります。
- 「オン」のときは、MULTI PIP を押すと2画面になり、設定が「オフ」になります。

■横拡大率

マルチ画面表示の横方向の拡大率を設定します。

……×1 ～×5

■縦拡大率

マルチ画面表示の縦方向の拡大率を設定します。

……×1 ～×5

例）横拡大率「×5」と縦拡大率「×5」に設定のマルチ画面

■目地設定

マルチ画面表示の目地の有無を設定します。

…… 目地部分を含むすべての映像を表示します。
（パソコンなどで文字情報を表示する場合に適しています）

…… 目地部分の映像を表示しません。
（動画など動きのある映像を表示する場合に適しています）

表示例）

「オフ」のとき

目地

「オン」のとき

■拡大位置

マルチ画面の画面位置を割り当てます。

例）横拡大率「×5」、縦拡大率「×5」の場合

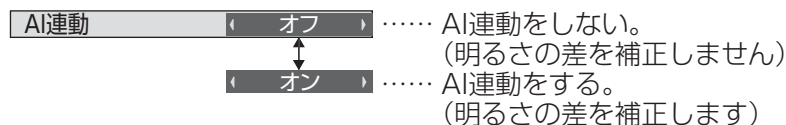
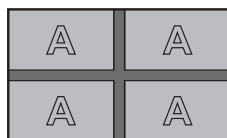
A1	A2	A3	A4	A5
B1	B2	B3	B4	B5
C1	C2	C3	C4	C5
D1	D2	D3	D4	D5
E1	E2	E3	E4	E5

拡大位置 A1 …… A1 ～ A5、B1 ～ B5、C1 ～ C5、D1 ～ D5、E1 ～ E5から選ぶ。

- 「横拡大率」「縦拡大率」の設定により、設定の表示内容は変わります。

初期設定（SET UP）

■AI連動

マルチ画面表示を構成するディスプレイ毎の明るさの差を補正し、均一な表示にします。

AI連動	オフ	…… AI連動をしない。（明るさの差を補正しません）
	オン	…… AI連動をする。（明るさの差を補正します）

表示例）

「オフ」のとき

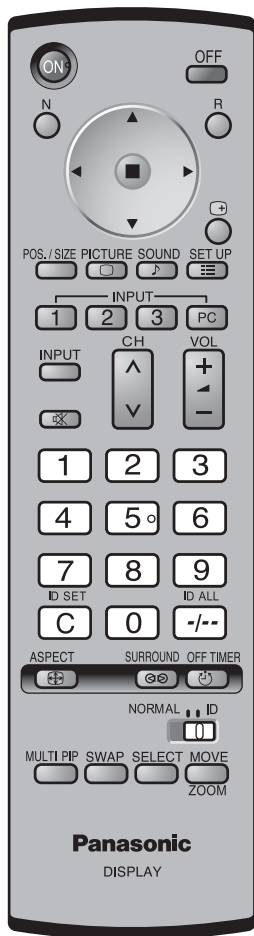
ディスプレイ毎に明るさが異なる

「オン」のとき

明るさが均一になる

お知らせ AI連動を「オン」にすると、以下のメニューの調整値は標準値に固定され、設定できません。
画質の調整：色の濃さ、色あい、入力レベル（テクニカル）（☞ 29・30ページ）

IDリモコン機能を使う

マルチ画面システムなど複数台のディスプレイ本体を近接した場所で使用する場合、リモコンでディスプレイ本体を個別に操作することができます。その場合は事前にID selectで設定したディスプレイ本体のID番号とリモコンのID番号を合わす必要があります。以下の手順でリモコンのID番号を設定してください。

■リモコンのID番号の設定

1. NORMAL ID をID側（NORMAL ID）にする。
2. ID SET C を押す。
3. 1 ～ 9 、0 から選んで押す。（2桁目の番号を設定）
4. 1 ～ 9 、0 から選んで押す。（1桁目の番号を設定）

- 手順2 ～ 4は時間を空けずに操作してください。
- 設定できるID番号は0 ～ 99までです。

例） IDを「1」に設定の場合は手順2の後、続けて 0 、1 を押す。
IDを「12」に設定の場合は手順2の後、続けて 1 、2 を押す。

- 3桁の番号を押したときは、最初の2桁が有効になります。

■IDリモコンのボタン操作

CH ∧ ∨ 以外のボタンは通常のリモコンと同じ操作になります。

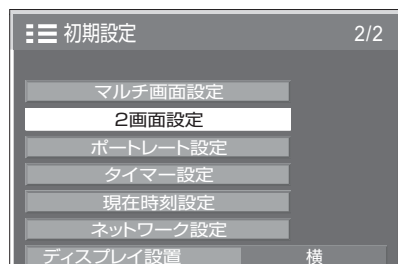
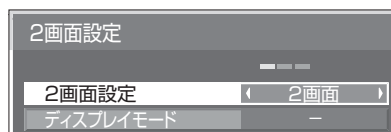
■リモコンのID番号の設定解除（ID「0」）

ID selectで設定したID番号と一致しなくても操作できます。

ID ALL -/-- を押す。（ID SET C 、0 、0 を押した時と同じです）

お知らせ
- IDリモコンで操作する場合はRemote IDを「On」にします。（☞ 56ページ）
オプションメニュー表示中はIDが一致しなくても操作できます。
- ID selectが0以外の設定で、リモコンのID番号がID selectの設定と一致しない場合は、リモコンで操作できません。（☞ 56ページ）

2画面設定

MULTI PIP を押したときの2画面表示機能を設定します。

● 「2画面設定」サブメニュー画面

■ 2画面の機能を切り換える

2画面設定 2画面 ……2画面、アドバンスト2画面、ブレンド2画面

■ 2画面の機能を切り換える

「2画面設定」で設定した機能別に、ディスプレイモードを切り換えます。

ディスプレイモード –

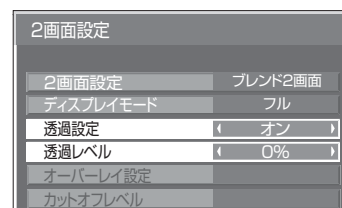
「2画面」のとき： – （1画面）、P AND P、P OUT P、P IN P
「アドバンスト2画面」のとき：– （1画面）、1 ～ 8
「ブレンド2画面」のとき： – （1画面）、フル、P IN P

お知らせ MULTI PIP を押すと、同様にディスプレイモードが切り換わります。

■ 副画面を透過表示する（ブレンド2画面時のみ）

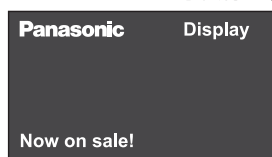
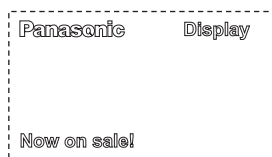
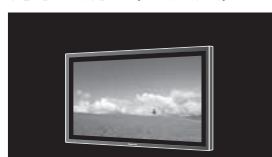
①「透過設定」で「オン」を選ぶ。
②「透過レベル」で副画面の透過レベルを設定する。（0 ～ 100%）

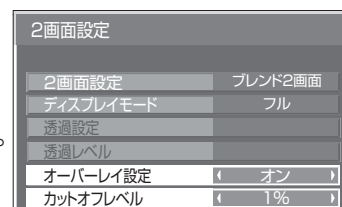
設定例）
透過映像（副画面）

0%：透過なし → 100%：完全透過

お知らせ 「透過設定」を「オン」にすると「オーバーレイ設定」はできません。

■ 副画面をオーバーレイ表示する（ブレンド2画面時のみ）

①「オーバーレイ設定」で「オン」を選ぶ。
②「カットオフレベル」を設定する。（1 ～ 10%）
副画面の透過領域/非透過領域を区別するための輝度レベル閾値を設定します。

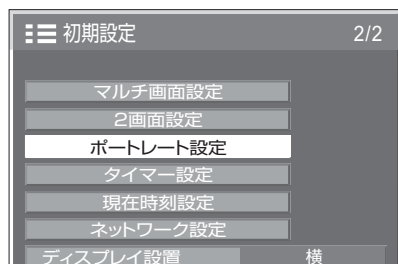
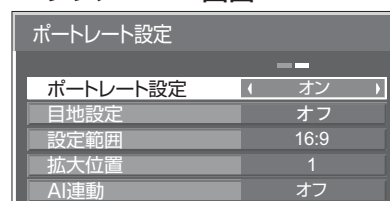
設定例）
オーバーレイ用映像（副画面）

オーバーレイ用映像の中で、「カットオフレベル」より暗い部分は透過し、明るい部分のみ背景画像の上に映ります。

オーバーレイ2画面

お知らせ 「オーバーレイ設定」を「オン」にすると「透過設定」はできません。

初期設定（SET UP）

ポートレート設定

縦置きにしたプラズマディスプレイに、入力映像を3分割し、3倍に拡大・90度回転した映像を映します。

ポートレート画面表示例

● **「ポートレート設定」サブメニュー画面**

お知らせ
- ディスプレイを縦置きにしてポートレート機能を使用する場合は、初期設定メニューの「ディスプレイ設置」を「縦」に設定してください。（☞ 52ページ）
- ポートレート設定を「オン」にするとマルチ画面設定（☞ 45ページ）はできません。

■ ポートレート設定

ポートレート設定 オフ ……拡大分割画面にしない。

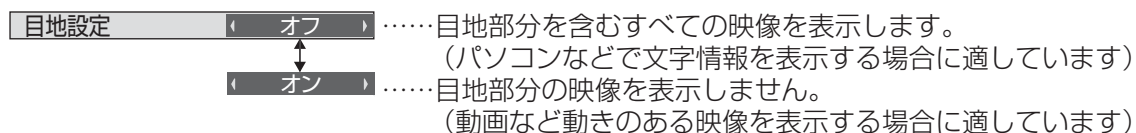
オン ……拡大分割画面にする。

■ 目地設定

ポートレート画面表示の目地の有無を設定します。

目地設定 オフ ……目地部分を含むすべての映像を表示します。
（パソコンなどで文字情報を表示する場合に適しています）

オン ……目地部分の映像を表示しません。
（動画など動きのある映像を表示する場合に適しています）

表示例）

「オフ」のとき　　「オン」のとき

■設定範囲

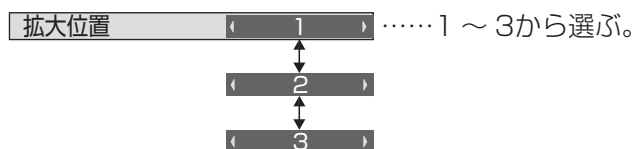
ポートレート画面表示の画像の分割モードを設定します。

……16:9または4:3を選ぶ。

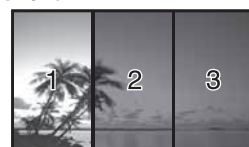
お知らせ
- HD信号映像の場合は、「設定範囲」は「16:9」になり、設定はできません。
  HD信号：1125（1080）/ 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24sF、750（720）/ 60p・50p、1250（1080）/ 50i
- 「設定範囲」が「16:9」のときは、画面モード（アスペクト）は「フル」に固定されます。

■拡大位置

ポートレート画面で表示する画面位置を割り当てます。

……1 ～ 3から選ぶ。

拡大位置設定画面

ポートレート設定「オン」のとき：
指定した拡大位置の映像に切り換わります。

ポートレート設定「オフ」のとき：
指定した拡大位置のみを表示し、
他はグレーマスクがかかります。
例）拡大位置「1」の場合

設定範囲と拡大位置

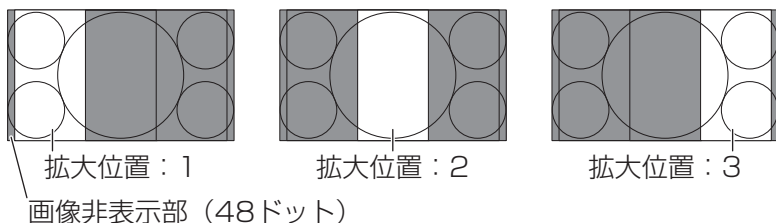
設定範囲の設定により、画像の分割モードと拡大位置は次のようになります。

設定範囲 16:9

拡大位置：1

拡大位置：2

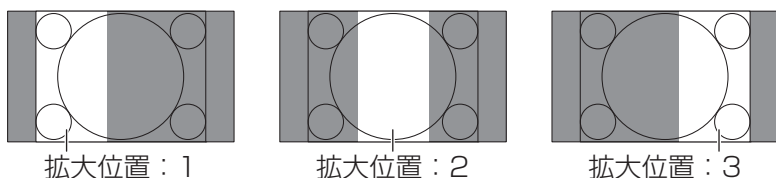
拡大位置：3

画像非表示部（48ドット）

16：9の映像を表示するのに適しています。4：3の映像は横に拡大された画像になります。また、画像の両端が48ドット分カットされます。

設定範囲 4:3

拡大位置：1

拡大位置：2

拡大位置：3

4：3の映像をそのままの比率で表示します。各拡大位置間で画像に重なりが生じますが、画面位置／サイズの調整で表示位置を調整すると重なりを解消できます。（☞ 25ページ）

■AI連動

3台のディスプレイに画像を分割表示したときの、ディスプレイ毎の明るさの差を補正し、均一な表示にします。

…… AI連動をしない。
（明るさの差を補正しません）
…… AI連動をする。
（明るさの差を補正します）

表示例）

「オフ」のとき

ディスプレイ毎に明るさが異なる

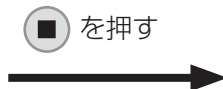
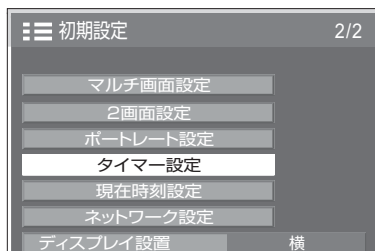
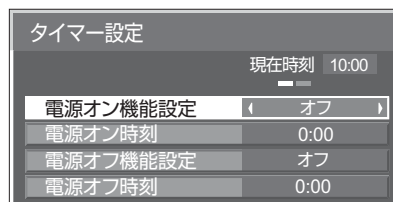
「オン」のとき

明るさが均一になる

お知らせ
- AI連動を「オン」にすると、以下のメニューの調整値は標準値に固定され、設定できません。
  画質の調整： 色の濃さ、色あい、入力レベル（テクニカル）
  （☞ 29・30ページ）

初期設定（SET UP）

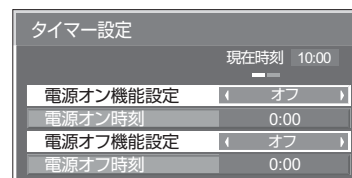
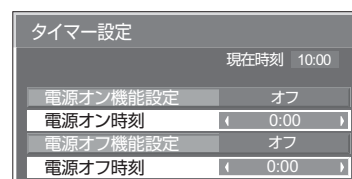
タイマー設定

自動的に電源を「入」または「切」にする設定を行います。

● 「タイマー設定」サブメニュー画面

■指定した時刻に電源を「入」または「切」にする

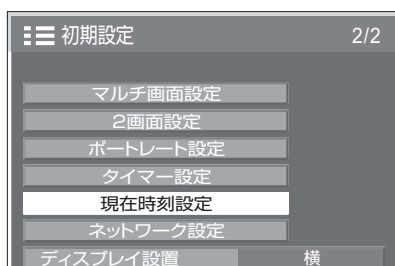
①「電源オン時刻」または「電源オフ時刻」を選ぶ。
②「電源オン時刻」または「電源オフ時刻」を設定する。

一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

③「電源オン機能設定」または「電源オフ機能設定」を選ぶ。
④「オン」に設定する。

タイマー設定
現在時刻 10:00
電源オン機能設定 オフ
電源オン時刻 0:00
電源オフ機能設定 オフ
電源オフ時刻 0:00

お知らせ　現在時刻を設定してから、タイマー設定をしてください。（☞ 下記）

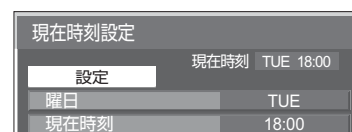
現在時刻設定

曜日と現在時刻を設定します。（「99：99」と表示されている場合は、未設定となっています。）

● 「現在時刻設定」サブメニュー画面

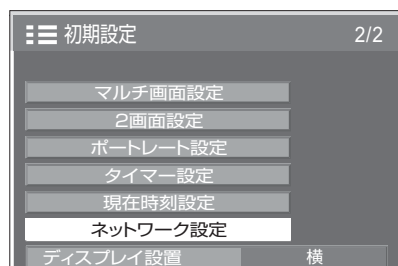
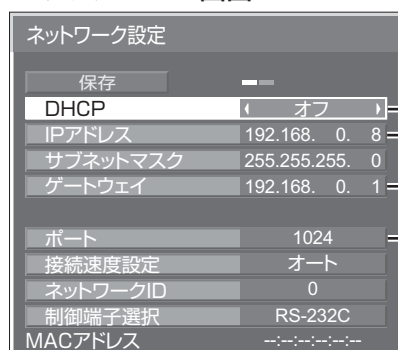
■曜日と現在時刻を設定する

①「曜日」または「現在時刻」を選ぶ。
②「曜日」または「現在時刻」を設定する。

一度押すと、現在時刻は1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

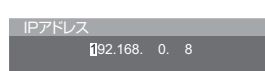
③「設定」を選んで ■ を押す。

お知らせ
- 現在時刻を設定しないとタイマー設定やスクリーンセーバーなどの時間設定はできません。
- 曜日および現在時刻の設定は、下記の場合にリセットされます。
  - ・本体の電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いたり、停電などで約7日間放置したとき。
- 現在時刻を「99：99」以外に設定しないと、曜日の設定は無効になります。

ネットワーク設定

ネットワーク機能を使用するための各種設定を行います。

● 「ネットワーク設定」サブメニュー画面

DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定

1 DHCPを設定する。
「オフ」を選ぶとIPアドレス他を手動で設定できます。

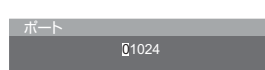
2 設定項目を選んで ■ を押す。

3 アドレスを入力する。

①◀▶で桁を選ぶ
②▲▼で数字を変更する
③■ を押す。
R を押すとアドレスの変更をキャンセルします。

4「保存」を選んで ■ を押す。

ポートの設定

1「ポート」を選んで ■ を押す。

2 ポート番号を入力する。

①◀▶で桁を選ぶ
②▲▼で数字を変更する
③■ を押す。
R を押すとポート番号の変更をキャンセルします。

■保存
現在のネットワーク設定を保存します。 DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの各設定値が保存されます。
「NG」と表示された場合、同じネットワーク内で同一のIPアドレスが使用されていないかご確認ください。

■DHCP（DHCPクライアント機能）
DHCPサーバーを利用し自動的にIPアドレスを取得する場合は「オン」にします。DHCPサーバーを利用しない場合は「オフ」にします。

■IPアドレス（IPアドレスの表示および設定）
DHCPサーバーを利用しない場合はIPアドレスを入力します。

■サブネットマスク（サブネットマスクの表示および設定）
DHCPサーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。

■ゲートウェイ（ゲートウェイアドレスの表示および設定）
DHCPサーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

■ポート
コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。設定できる範囲は1024 ～ 65535です。
PJLink™プロトコルを使用する場合は、ポートの設定は必要ありません。

■接続速度設定
LAN環境の接続速度を設定します。設定値は、オート、10BASE半二重、10BASE全二重、100BASE半二重、100BASE全二重から選択します。

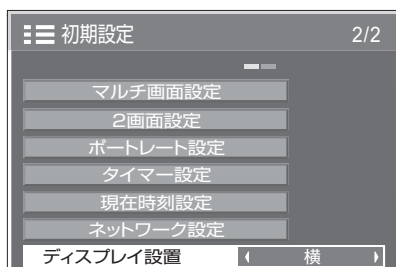
■ネットワークID
本機を識別するIDを設定します。
設定できる範囲は0 ～ 99です。

■制御端子選択
RS-232C（シリアル）で制御するか、LANで制御するかを設定します。「LAN」に設定すると、「Slot power」の設定に関わらずスロット電源に電源供給され、リモコンで電源を「切」にしたとき（スタンバイ）、電源ランプが橙色点灯します。（☞ 57ページ）

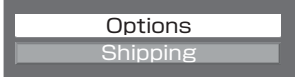
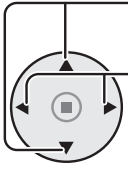
■MACアドレス
本機のMACアドレスを表示します。ただし、「制御端子選択」が「RS-232C」のときは、MACアドレスは表示されません。

お知らせ
- DHCPサーバーを利用する場合、DHCPサーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- 詳しい設定内容については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ディスプレイ設置

縦置き設置時のファンの制御とオンスクリーンメニューの表示方法を設定します。

横

横置き用のファン制御になります。

縦

縦置き用のファン制御になります。
オンスクリーンメニューが反時計方向に 90 度回転表示し、縦置き設置時に表示が見やすくなります。

お願い 縦置き設置時は、電源ボタンを下側にして設置してください。

お知らせ 電源「入」のときにファン制御が働きます。

オプション（Options）メニュー

本機は設置場所や用途に合わせて使用される場合に便利な特殊機能を備えています。

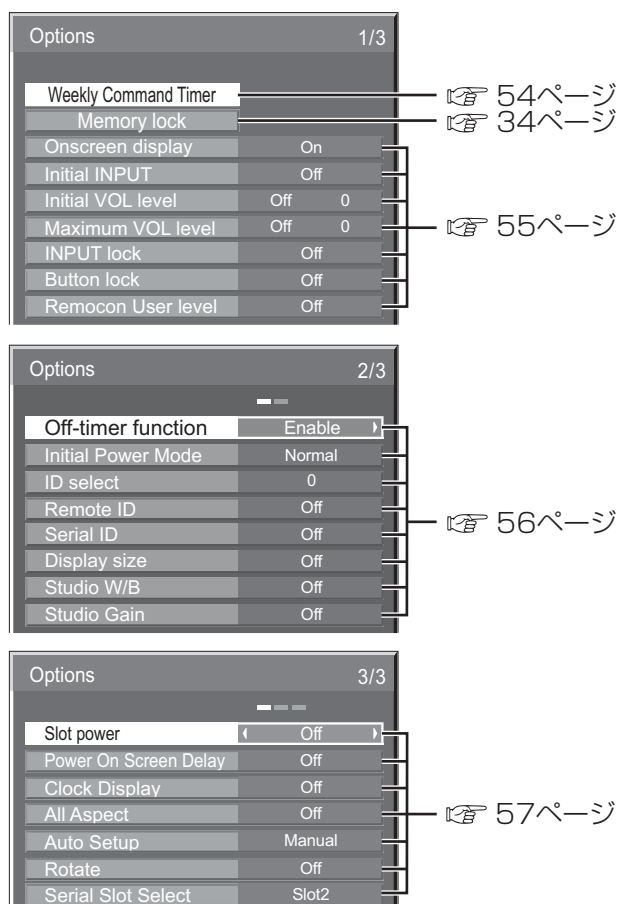
1 SET UP 押して「初期設定」メニュー画面を表示する。

2 ①押して「表示言語切換」を選択する。
②3秒以上押す

3 ①押して「Options」を選択する。
②押して「Options」メニューを表示する。

4 ①押して設定項目を選択する。
②押して設定する。
「Weekly Command Timer」または「Memory lock」を選び、■ を押すと設定画面になります。（☞ 34・54ページ）

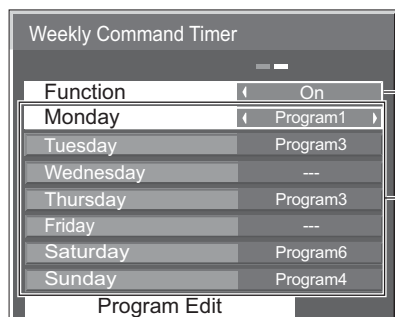
5 SET UP 押して設定を終了する。

● Optionsメニュー画面

お知らせ
- 「オプション（Options）」メニューの操作はすべてリモコンで行います。本体の操作ボタンではできません。
- R を押すと1つ前の画面に戻ります。
- ボタン操作をしないと約60秒後に元の画面へ戻ります。
- オプションメニューの言語は英語表示のみです。

オプション（Options）メニュー

Weekly Command Timer（ウィークリーコマンドタイマー）

曜日ごとにプログラム設定（時刻、コマンド）されたタイマー制御ができます。
●曜日と現在時刻を設定してから、ウィークリーコマンドタイマーを設定してください。（☞ 50ページ）

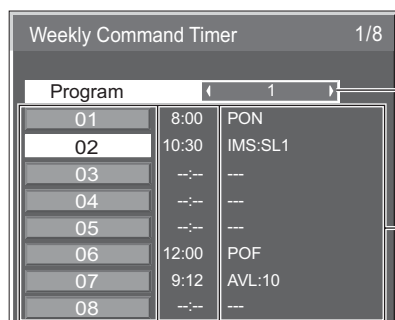
■ウィークリーコマンドタイマーの使用と各曜日ごとのプログラムを選択します。

1 ウィークリーコマンドタイマーを使うとき
▲▼で「Function」を選び、◀▶で「On」に設定する。

2 各曜日ごとにプログラムを選択する
▲▼で曜日を選び、◀▶でプログラム番号を選ぶ。
プログラム番号はProgram1 ～ 7まで設定できます。---は未設定です。

お知らせ 「Function」を「On」に設定すると、タイマー設定（☞ 50ページ）およびスクリーンセーバー（☞ 41ページ）の「周期指定」「時刻指定」は無効になります。

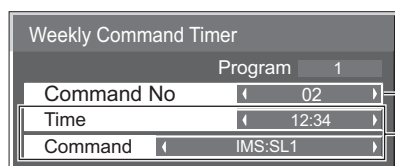
▲▼で「Program Edit」を選び、■を押す。

■プログラム番号ごとのプログラム内容を表示します。

1プログラム64コマンド番号までの設定ができます。

1 表示させたいプログラム番号を選択する
▲▼で「Program」を選び、◀▶でプログラム番号（1 ～ 7）を切り換える。

コマンド番号ごとの設定内容
--:--、---は時刻、コマンドが未設定です。

2 確認したいコマンド番号を選択する
①▲▼でコマンド番号を選ぶ。◀▶でページ切り換えができます。
②コマンドの設定をするときは■を押す。

■コマンド番号ごとにタイマー時刻とコマンドの設定をします。

1 設定したいコマンド番号を選択する
①▲▼で「Command No」を選ぶ。
②◀▶でコマンド番号を選ぶ。

2 タイマー時刻、コマンドを設定する
①▲▼で「Time」または「Command」を選ぶ。
②◀▶で設定する。
Time：◀▶を1度押すと1分ごとに変化します。押し続けると15分ごとに変化します。
Command：本機には、あらかじめ設定された64種類の内蔵コマンドがあります（☞ 61ページ）。「Time」で設定した時刻に実行するコマンドを選んでください。

お知らせ （R）を押すと1つ前の画面に戻ります。

お知らせ
●コマンド番号に関係なく、設定した時刻順にコマンドを実行します。
●同じ時刻に複数のコマンドを設定した場合は、コマンド番号順に実行します。
●（N）を押すと「Time」は--:--、「Command」は---になります。

Memory lock

保存メモリーのロック／解除やパスワードの設定をします。(☞ 34ページ)

Onscreen display（オンスクリーン表示）

電源オン表示、入力切換表示、無信号表示、メニュー画面表示後の消音表示、◯ を押した後の消音とオフタイマー残り時間表示、オフタイマー 3分前の残時間表示を行わなくすることができます。

設定値 **On**：表示にします。
Off：非表示にします。

Initial INPUT（スタート入力設定）

電源「入」時の入力を設定します。

設定値 Off、PC、INPUT1、INPUT2、INPUT3

お知らせ

- 「入力表示書換設定」で設定した信号名（例：INPUT1、INPUT2、INPUT3、PCなど）を表示します。(☞ 39ページ)
- 端子ボードを取り付けていない場合は、信号名は表示されません。
- 「INPUT lock」が「Off」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。(☞ 55ページ)
- 2入力の端子ボード装着時には、INPUT1A、INPUT1BのようにA/Bの入力表示が付きます。

Initial VOL level（スタート音量設定）

電源「入」時の音量を設定します。

設定値 **Off**：通常の音量になります。
On：設定した音量になります。

（メニューの「Initial VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します）

■音量の設定

VOL + − を押して音量を調整します。

お知らせ

「Maximum VOL level」が「On」のときは「Maximum VOL level」で設定した音量以上には設定できません。(☞ 下記参照)

Maximum VOL level（最大音量設定）

音量を設定以上に大きくならないようにします。

設定値 **Off**：通常の音量になります。
On：設定した音量になります。

（メニューの「Maximum VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します）

■音量の設定

VOL + − を押して音量を調整します。

お知らせ

「Maximum VOL level」を「Off」から「On」にしたとき、「Maximum VOL level」で設定した音量が「Initial VOL level」で設定した音量以下では強制的に「Initial VOL level」で設定した音量は「Maximum VOL level」で設定した音量になります。

INPUT lock（入力切換固定）

入力を固定して「入力切換」操作をできなくします。

設定値 Off、PC、INPUT1、INPUT2、INPUT3

お知らせ

- 「入力表示書換設定」で設定した信号名（例：INPUT1、INPUT2、INPUT3、PCなど）を表示します。(☞ 39ページ)
- 端子ボードを取り付けていない場合は、信号名は表示されません。
- 「Off」以外に設定すると、すぐに入力切換操作ができなくなります。また、2画面にはできません。
- 2画面時は「Off」以外に設定すると1画面で設定した入力に固定します。
- 2入力の端子ボード装着時には、INPUT1A、INPUT1BのようにA/Bの入力表示が付きます。

Button lock（ボタン操作制限）

本体のボタン操作を制限します。

設定値 **Off**：ボタン操作を制限しません。
MENU & ENTER：MENU と ENTER/ 操作はできません。
On：すべてのボタン操作はできません。

Button lockは、次の手順で本体のボタンを操作して設定できます。

Off：+/▲ を4回押す→ INPUT を4回押す→ −/▼ を4回押す→ ENTER/ を押す

MENU & ENTER：
ENTER/ を4回押す→ +/▲ を4回押す→ INPUT を4回押す→ ENTER/ を押す

On：−/▼ を4回押す→ ENTER/ を4回押す→ +/▲ を4回押す→ ENTER/ を押す

Remocon User level(リモコン操作制限)

リモコンのボタン操作を制限します。

設定値 **Off**　：ボタン操作を制限しません。

User1：ON、OFF、INPUT、INPUT 1、2、3、PC、◯、SURROUND、🔇、VOL 以外のボタン操作はできません。

User2：ON、OFF 以外のボタン操作はできません。

User3：すべてのボタン操作はできません。

オプション（Options）メニュー

Off-timer function（オフタイマー機能）

オフタイマー機能を有効/無効の設定をします。

設定値 Enable ：オフタイマー機能を有効にします。
Disable ：オフタイマー機能を無効にします。

お知らせ

オフタイマー設定時は「Disable」にするとオフタイマーが解除されます。

Initial Power Mode（電源復帰モード）

電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときの本体の電源状態を設定します。

設定値 Normal：電源が切れる前の状態で復帰します。
Standby：電源「スタンバイ」の状態で復帰します（電源ランプ：赤色/橙色点灯）。
On ：電源「入」の状態で復帰します（電源ランプ：緑色点灯）。

お知らせ

本機を複数台設置されている場合は、電源が復帰したときの負担を軽減するために「Standby」に設定されることをおすすめします。

ID select（ID番号選択）

「Remote ID」「Serial ID」でディスプレイ本体（パネル）の制御を行うときのID番号（パネル番号）を設定します。

設定値 ID select：設定値：0 ～ 100。（標準値：0）

お知らせ

IDリモコン機能を使い「0」に設定の場合は、リモコンのID番号と一致しなくても操作できます。

Remote ID（リモコンID）

IDリモコン機能を有効/無効の設定をします。

設定値 Off ：IDリモコン機能を無効にします。（通常のリモコンとして操作ができます）
On ：IDリモコン機能を有効にします。
「On」に切り換えと同時に有効になります。

お知らせ

IDリモコン機能を使うときは、リモコンのID番号とディスプレイ本体のID番号の設定が必要です。リモコンのID番号の設定は（☞ 46ページ）、ディスプレイ本体のID番号は上記（ID select）をご覧ください。

Serial ID（シリアルID）

SERIAL（シリアル）端子に接続したパソコンからの外部制御をディスプレイのID番号（パネルID）により制御する設定をします。

設定値 Off ：IDによる外部制御を無効にします。
On ：IDによる外部制御を有効にします。

Display size（画面表示領域設定）

画面の映像表示領域の設定をします。

設定値 Off ：通常の映像表示領域にします。
On ：映像表示領域を通常の約95%にして映像端が確認できます。

「Off」のとき全域表示　「On」のとき画角の95%領域表示

- 設定が有効になる信号は以下の通りです。
  NTSC、PAL、SECAM、M.NTSC、PAL60、PAL-M、PAL-N（デュアルビデオ端子（BNC）ボード（TY-FB9BD））
  525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p、1125/60i、1125/50i、1125/24sF、1125/25p、1125/24p、1125/60p、1125/50p、1125/30p、1250/50i（コンポーネント（色差）ビデオ、RGB、DVI、SDI、HDMI）
  （DVI、SDI、HDMIの対応信号は各ボードの説明書を参照ください。）
- 2画面、デジタルズーム、マルチ画面、ポートレート画面では、この設定は有効になりません。
- 「On」に設定して画面表示中は画面位置／サイズの調整は水平位置、垂直位置のみできます。

Studio W/B（スタジオW/B）

スタジオW/Bの設定をします。

設定値 Off ：設定が無効になります。
On ：テレビスタジオ用の色温度にします。

お知らせ

- 「画質の調整」の「色温度」が「低」のときに有効になります。

Studio Gain（スタジオゲイン）

画像の明るい部分が白くつぶれて見える場合（白つぶれ）に、コントラストを高めて見やすい映像にします。

設定値 Off ：スタジオゲイン機能を無効にします。
On ：スタジオゲイン機能を有効にします。（白つぶれを解消します）

- 設定が有効になる信号は以下の通りです。
  コンポーネント（色差）ビデオ、RGB（アナログ）、SDI、HDMI

Slot power（スロット電源）

スロット電源への電源供給の設定を行います。（「On」または装着ボードにより、スロットに電源供給される時…電源「スタンバイ」時は電源ランプ橙色点灯）

設定値
Off　：電源供給はしません
Auto：電源「入」時に電源供給します。
　　　電源「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」時は電源供給しません。
On　：電源「入」時、電源「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」）時に電源供給します。（機能動作を保持する必要のあるボードを装着のとき）

お知らせ
装着されるボードによっては設定に関わらず電源「入」時と「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」）時に電源供給されます。

Power On Screen Delay（起動遅延制御）

マルチ画面システムなどで複数台のディスプレイを設置し、同時に電源「入」にしたとき、各ディスプレイの電源が入るタイミングを遅らせて電源負荷を分散します。各ディスプレイごとに設定してください。

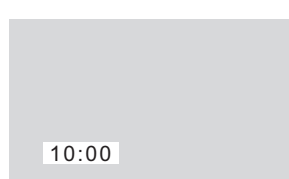
設定値
Off　：電源「入」と同時に電源が入ります。
1…30：遅延時間（秒）を設定します。電源を「入」にしてから設定した時間だけ遅れてディスプレイの電源が入ります。

お知らせ
- 遅延動作開始から終了までの間は、電源ランプが緑色点滅します。
- 電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときにもこの機能は働きます。スタンバイ時のスロット電源供給時に電源プラグを抜き差しすると、スロットへの電源供給が遅延動作します。その時、電源ランプは赤色点灯後、電源供給とともに橙色点灯します。

Clock Display（時計表示設定）

時計表示の表示/非表示を設定します

設定値
Off：時計を表示しません。
On：時計を表示します。

10:00

時計表示は、◯ を押したとき、ディスプレイの左下に表示されます。

お知らせ
現在時刻が未設定の場合、「Clock Display」を「On」に設定しても時計は表示されません。（☞ 50ページ）

All Aspect（全画面モード設定）

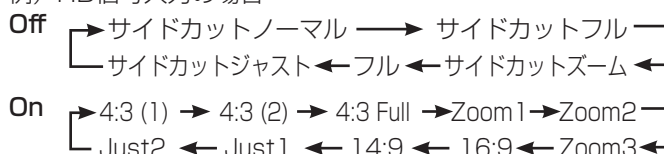
ASPECT を押したときの画面モード切換パターンを工場出荷時の仕様から全画面モード切換仕様に設定します。

設定値
Off：工場出荷時の画面モード切換仕様
On：全画面モード切換仕様

「All Aspect」の設定を切り換えると、画面モードは次のようになります。

例）HD信号入力の場合

Off
→サイドカットノーマル → サイドカットフル → サイドカットズーム → フル → サイドカットジャスト →（最初に戻る）

On
→4:3 (1) → 4:3 (2) → 4:3 Full → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → 16:9 → 14:9 → Just1 → Just2 →（最初に戻る）

Auto Setup（自動位置補正）

「画面位置／サイズ」メニューの自動位置補正の動作モードを設定します。

設定値
Manual：リモコンの AUTO SETUP を押したときや「画面位置／サイズ」メニューで自動位置補正を実行したときに動作する。
Auto　：リモコン、メニューでの操作以外に、次の場合に自動位置補正が動作します。
- ディスプレイの電源を「入」にしたとき
- 入力信号が切り換わったとき

Rotate（映像回転）

映像回転表示機能の設定をします。

設定値
Off：映像を回転しない。
On：映像を180度回転します。

Serial Slot Select（シリアル通信スロット選択）

シリアル通信を行うファンクションボードにおいて挿入スロット位置を変更したいときに設定します。

設定値
Slot1, Slot2, Slot3
2スロット幅のファンクションボードの場合は以下のように設定してください。
SLOT1+SLOT2へ装着の場合…Slot1
SLOT2+SLOT3へ装着の場合…Slot2

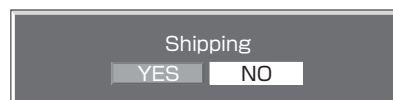
お知らせ
- 設定変更後、すぐに切り換わります。
- 間違った設定を行うと、ファンクションボードのシリアル通信が正常に動作しません。

ボタン操作制限、リモコン操作制限、リモコンIDの設定を標準値に戻すには

「Button lock」「Remocon User level」「Remote ID」の設定を行ない、リモコンと本体のボタンで本機の操作ができなくなったときに、設定を「Off」に戻し操作ができるようにします。

本体のボタン -/▼ とリモコン R を同時に5秒以上押す

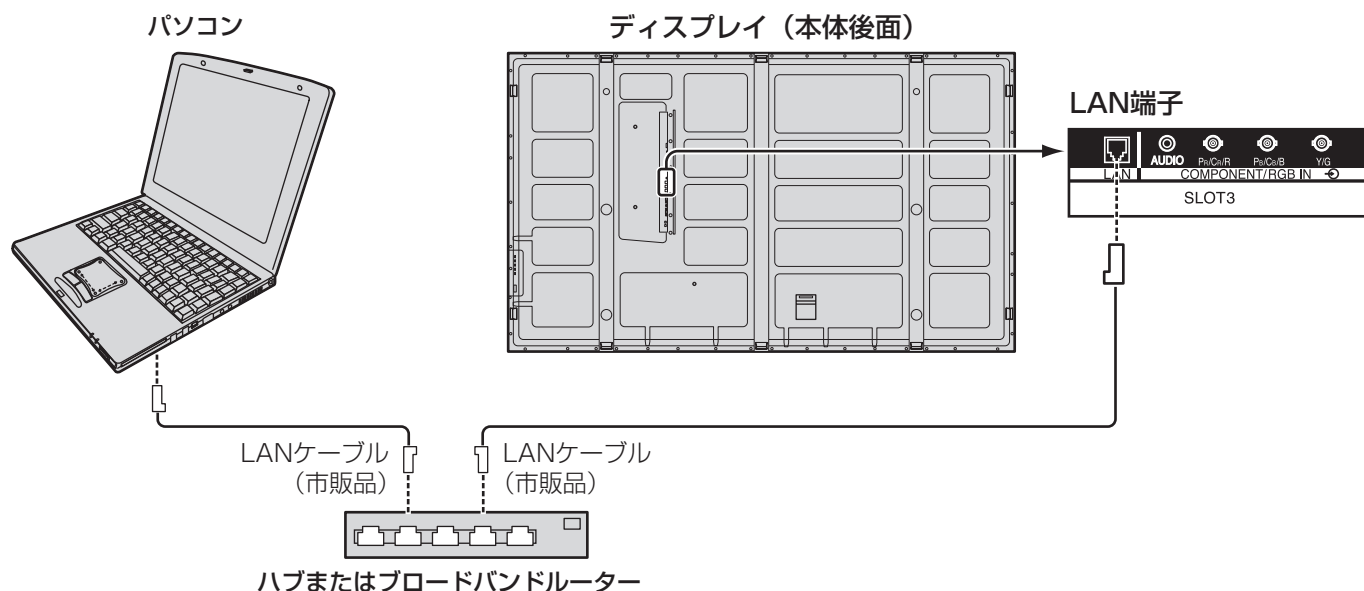
「Shipping」メニューを表示した後、表示が消えロックが解除されます。

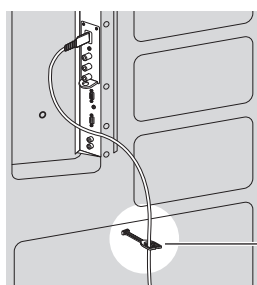
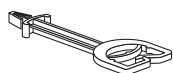
Shipping
YES　NO

- 「Button lock」「Remocon User level」「Remote ID」の設定が「Off」に戻ります。

ネットワーク機能を使う

本機はネットワーク機能を備えており、ネットワークに接続されたディスプレイをパソコンで制御することができます。

お知らせ　ネットワーク機能をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行い、「制御端子選択」を必ず「LAN」に設定してください。(☞ 51ページ)
「LAN」に設定すると、「Slot power」の設定に関わらずスロット電源に電源供給され、リモコンで電源を「切」にしたとき（スタンバイ)、電源ランプが橙色点灯します。(☞ 57ページ)

ネットワーク接続例

お知らせ
- LANケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- LANケーブルは他の接続ケーブル（電源コードを除く）から離して配線してください。
- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TXに対応していることをご確認ください。
- 100BASE-TX用の機器を接続する場合は、「カテゴリ5」のLANケーブルをご使用ください。
- 静電気を帯びた手（体）でLAN端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。
LAN 端子及びLAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- 接続方法についてはネットワーク管理者にご相談ください。

■LANケーブルの固定

据置きスタンド（TY-ST85P12）を使用して本機を設置する場合は、同梱のクランパーでLANケーブルを固定してください。その他の設置方法でご使用のときは、対応する組み立て設置工事説明書に従ってください。

お知らせ　LANケーブルは組み立て設置工事説明書に従い、ディスプレイ本体に近づけないよう固定してください。

コマンドコントロール

本機のネットワーク機能は、ネットワークからシリアル制御と同等に本機を制御することができます。

対応コマンド

シリアル制御で使用しているコマンドに対応しています。(☞ 12ページ)

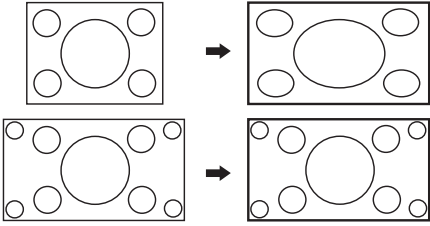
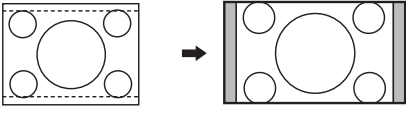
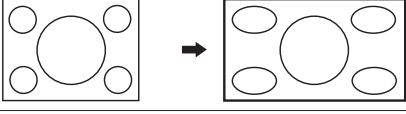
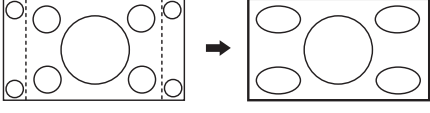
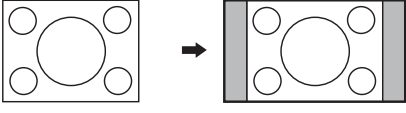
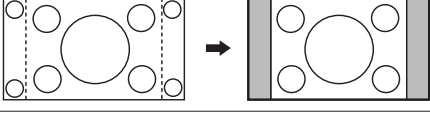
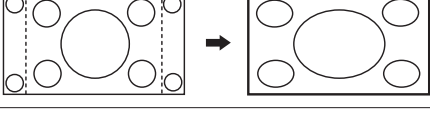
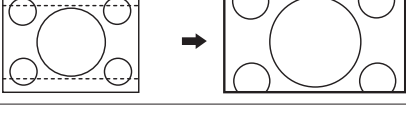
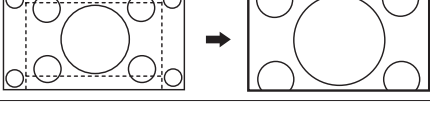
お知らせ　詳しい使用方法が必要な場合は、販売店にご相談ください。

PJLink™プロトコル

本機のネットワーク機能はPJLink™クラス1 に対応しており、PJLink™プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態問い合わせ

対応コマンド

PJLink™プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備　考
POWR	電源制御	パラメータ 0 = スタンバイ　　1 = 電源「入」
POWR?	電源状態問い合わせ	パラメータ 0 = スタンバイ　　1 = 電源「入」
INPT	入力切り換え	パラメータ 1バイト目: 1(RGB)固定 2バイト目: 入力位置（1 ～）
INPT?	入力切換問い合わせ	
AVMT	シャッター制御	パラメータ 10 = 映像オン (映像ミュート解除), 11 = 映像オフ (映像ミュート) 20 = 音声オン (音声ミュート解除), 21 = 音声オフ (音声ミュート) 30 = シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31 = シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
AVMT?	シャッター制御問い合わせ	パラメータ 11 = 映像オフ (映像ミュート)　21 = 音声オフ (音声ミュート) 30 = シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31 = シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
ERST?	エラー状態問い合わせ	パラメータ 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 または 2 のいずれか 2 バイト目: 0 3 バイト目: 0 4 バイト目: 0 5 バイト目: 0 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 または 2 のいずれか 0 ～ 2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない, 2 = エラー
LAMP?	ランプ状態問い合わせ	未対応になります
INST?	入力切換一覧問い合わせ	パラメータ 11: パソコン入力 12 ～ 16: スロット1入力(INPUT1A) スロット1入力(INPUT1B) スロット2入力(INPUT2A) スロット2入力(INPUT2B) スロット3入力(INPUT3) ※ 12以降の数字はスロット装着状態により異なる
NAME?	プロジェクター名問い合わせ	空文字を応答します (名前情報がありません)
INF1?	メーカー名問い合わせ	“Panasonic”と応答します
INF2?	機種名問い合わせ	“TH-85PF12”と応答します (85インチモデルの場合)
INFO?	その他情報問い合わせ	バージョン番号を応答します
CLSS?	クラス情報問い合わせ	“1”と応答します

PJLink™セキュリティ認証

PJLink™のパスワードには“Panasonic”を設定してください。

- PJLink™は、日本、米国、その他の国や地域における出願商標です。
  PJLink™に関する仕様については（社）ビジネス機械・情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。
  URL http://pjlink.jbmia.or.jp/

画面モード一覧

画面モード		映像 ➡ 拡大画面	説 明
All Aspect : On	工場出荷時 All Aspect : Off		
16:9	フル		映像を画面いっぱいに表示します。SD信号の場合は4:3の映像を横方向に拡大します。16:9のアナモフィック映像を表示するのに適しています。
14:9	−		14:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大します。垂直は画面いっぱいに、水平は画面より少し小さめに表示します。映像の上下端はカットされます。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
Just Just1	ジャスト		4:3の映像を横方向に拡大し、違和感の少ない映像にします。画面の左右周辺は少し伸びた表示になります。
Just2	サイドカット ジャスト		4:3の映像を横方向に拡大し、違和感の少ない映像にします。映像の左右端はカットされます。画面の左右端周辺は少し伸びた表示になります。
4:3 4:3 (1)	ノーマル		4:3映像をそのまま表示します。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
4:3 (2)	サイドカット ノーマル		4:3の映像をそのまま表示します。映像の両端はサイドパネルでマスクされます。
4:3 Full	サイドカット フル		4:3の映像を横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の左右端はカットされます。
Zoom Zoom1	ズーム		16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端はカットされます。
Zoom2	サイドカット ズーム		16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。
Zoom3	−		2.35:1のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、垂直は画面いっぱいに、水平は画面より少し大きめに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。

工場出荷時の設定に戻すには

「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「画面位置/サイズ」「テクニカル」「オプション」メニューの設定、調整値を以下の操作で工場出荷時の状態に戻します。

	リモコン操作	本体操作
1	SET UP 押して「初期設定」メニュー画面を表示する。	MENU を数回押す
2	① 押して「表示言語切換」を選択する。 ② 3 秒以上押す。	−/▼ または +/▲ を押す。
3	① 押して「Shipping」を選択する。 ② 押して「Shipping」画面を表示する。	ENTER/■ を5秒以上押す。
4	① 押して「YES」を選択する。 ② 押す。	+/▲ ❶ 押す。 ENTER/■ ❷ 押す。

お願い 手順4の操作後は10秒以上、他の操作をしないでください。その後、一度、電源を「切」にしてください。

Weekly Command Timer のコマンド

No.	コマンド	制御内容
1	AAC:MENCLR※1	音声メニュー クリア
2	AAC:MENDYN※1	音声メニュー ダイナミック
3	AAC:MENSTD※1	音声メニュー スタンダード
4	AAC:SURMON	サラウンド ON
5	AAC:SUROFF	サラウンド OFF
6	AMT:0	音声ミュート OFF
7	AMT:1	音声ミュート ON
8	ASO:M	2画面時音声出力 主画面
9	ASO:S	2画面時音声出力 副画面
10	AVL:00	音量 00
11	AVL:10	音量 10
12	AVL:20	音量 20
13	AVL:30	音量 30
14	AVL:40	音量 40
15	AVL:50	音量 50
16	AVL:60	音量 60
17	DAM:FULL	画面モード フル
18	DAM:JUST	画面モード ジャスト
19	DAM:NORM	画面モード ノーマル
20	DAM:SELF	画面モード セルフワイド
21	DAM:ZOOM	画面モード ズーム
22	DWA:OFF	2画面設定 OFF
23	DWA:OVL1	アドバンスト2画面指定 1 (☞ 21ページ)
24	DWA:OVL2	アドバンスト2画面指定 2 (☞ 21ページ)
25	DWA:OVL3	アドバンスト2画面指定 3 (☞ 21ページ)
26	DWA:OVL4	アドバンスト2画面指定 4 (☞ 21ページ)
27	DWA:OVL5	アドバンスト2画面指定 5 (☞ 21ページ)
28	DWA:OVL6	アドバンスト2画面指定 6 (☞ 21ページ)
29	DWA:OVLOF	アドバンスト2画面機能 OFF(通常の2画面モード)
30	DWA:OVLON	アドバンスト2画面機能 ON
31	DWA:PIN0	2画面時の副画面位置 右下
32	DWA:PIN1	2画面時の副画面位置 左下
33	DWA:PIN2	2画面時の副画面位置 左上
34	DWA:PIN3	2画面時の副画面位置 右上
35	DWA:PIP	2画面設定 P IN P
36	DWA:POP	2画面設定 P OUT P
37	DWA:SWP	2画面時の主/副画面入れ換え
38	DWA:TWN	2画面設定 P AND P
39	IMS:PC1	入力切換 (2画面時は主画面) PC1選択
40	IMS:SL1	入力切換 (2画面時は主画面) SLOT1選択
41	IMS:SL1A	入力切換 (2画面時は主画面) SLOT1A選択
42	IMS:SL1B	入力切換 (2画面時は主画面) SLOT1B選択
43	IMS:SL2	入力切換 (2画面時は主画面) SLOT2選択
44	IMS:SL2A	入力切換 (2画面時は主画面) SLOT2A選択
45	IMS:SL2B	入力切換 (2画面時は主画面) SLOT2B選択
46	IMS:SL3	入力切換 (2画面時は主画面) SLOT3選択
47	ISS:PC1	副画面入力切換 PC1選択
48	ISS:SL1	副画面入力切換 SLOT1選択
49	ISS:SL1A	副画面入力切換 SLOT1A選択
50	ISS:SL1B	副画面入力切換 SLOT1B選択
51	ISS:SL2	副画面入力切換 SLOT2選択
52	ISS:SL2A	副画面入力切換 SLOT2A選択
53	ISS:SL2B	副画面入力切換 SLOT2B選択
54	ISS:SL3	副画面入力切換 SLOT3選択
55	OSP:SCR0	スクリーンセーバー白色バー OFF
56	OSP:SCR1	スクリーンセーバー白色バー ON
57	POF	電源「切」
58	PON	電源「入」
59	SSC:FNC0	スクリーンセーバー機能選択 白色バー
60	SSC:FNC1	スクリーンセーバー機能選択 色反転
61	SSC:MOD0	スクリーンセーバー動作選択 OFF
62	SSC:MOD3	スクリーンセーバー動作選択 ON
63	VMT:0※2	映像ミュート OFF
64	VMT:1※2	映像ミュート ON

※1 本機は音声メニューがありませんので、このコマンドは無効になります。
※2 リモコン操作による電源の入/切では、映像ミュート状態は解除できません。ディスプレイ本体のボタンによる電源の入/切またはコマンドVMT:0で解除されます。

表示可能な入力信号

（＊：表示可能な入力信号）

	信号名	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	COMPONENT/RGB IN, PC IN (Dotclock(MHz))	DVI-D IN (Dotclock(MHz))
1	525 (480) / 60i	15.73	59.94	＊ (13.5)	
2	525 (480) / 60p	31.47	59.94	＊ (27.0) ※5	＊ (27.0)
3	625 (575) / 50i	15.63	50.00	＊ (13.5)	
4	625 (575) / 50p	31.25	50.00	＊ (27.0)	
5	625 (576) / 50p	31.25	50.00		＊ (27.0)
6	750 (720) / 60p	45.00	60.00	＊ (74.25)	＊ (74.25)
7	750 (720) / 50p	37.50	50.00	＊ (74.25)	＊ (74.25)
8	1,125 (1,080) / 60p	67.50	60.00	＊ (148.5) ※1	＊ (148.5)
9	1,125 (1,080) / 60i	33.75	60.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)
10	1,125 (1,080) / 50p	56.26	50.00	＊ (148.5) ※1	＊ (148.5)
11	1,125 (1,080) / 50i	28.13	50.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)
12	1,125 (1,080) / 24sF	27.00	48.00	＊ (74.25) ※2	
13	1,125 (1,080) / 30p	33.75	30.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)
14	1,125 (1,080) / 25p	28.13	25.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)
15	1,125 (1,080) / 24p	27.00	24.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)
16	1,250 (1,080) / 50i	31.25	50.00	＊ (74.25) ※3	
17	2,048 × 1,080 / 24sF ※7	27.00	48.00		
18	2,048 × 1,080 / 24p ※7	27.00	24.00		
19	640 × 400 @70 Hz	31.46	70.07	＊ (25.17)	
20	640 × 480 @60 Hz	31.47	59.94	＊ (25.18) ※6	＊ (25.18)
21	640 × 480 @72 Hz	37.86	72.81	＊ (31.5)	
22	640 × 480 @75 Hz	37.50	75.00	＊ (31.5)	
23	640 × 480 @85 Hz	43.27	85.01	＊ (36.0)	
24	800 × 600 @56 Hz	35.16	56.25	＊ (36.0)	
25	800 × 600 @60 Hz	37.88	60.32	＊ (40.0)	＊ (40.0)
26	800 × 600 @72 Hz	48.08	72.19	＊ (50.0)	
27	800 × 600 @75 Hz	46.88	75.00	＊ (49.5)	
28	800 × 600 @85 Hz	53.67	85.06	＊ (56.25)	
29	852 × 480 @60 Hz	31.47	59.94	＊ (33.54) ※6	＊ (34.24)
30	1,024 × 768 @50 Hz	39.55	50.00		＊ (51.89)
31	1,024 × 768 @60 Hz	48.36	60.00	＊ (65.0)	＊ (65.0)
32	1,024 × 768 @70 Hz	56.48	70.07	＊ (75.0)	
33	1,024 × 768 @75 Hz	60.02	75.03	＊ (78.75)	
34	1,024 × 768 @85 Hz	68.68	85.00	＊ (94.5)	
35	1,066 × 600 @60 Hz	37.64	59.94	＊ (53.0)	＊ (53.0)
36	1,152 × 864 @60 Hz	53.70	60.00		＊ (81.62)
37	1,152 × 864 @75 Hz	67.50	75.00	＊ (108.0)	
38	1,280 × 768 @60 Hz	47.70	60.00	＊ (80.14)	
39	1,280 × 960 @60 Hz	60.00	60.00	＊ (108.0)	
40	1,280 × 960 @85 Hz	85.94	85.00	＊ (148.5)	
41	1,280 × 1,024 @60 Hz	63.98	60.02	＊ (108.0)	＊ (108.0)
42	1,280 × 1,024 @75 Hz	79.98	75.03	＊ (135.0)	
43	1,280 × 1,024 @85 Hz	91.15	85.02	＊ (157.5)	
44	1,366 × 768 @50 Hz	39.55	50.00		＊ (69.92)
45	1,366 × 768 @60 Hz	48.36	60.00	＊ (86.71)	＊ (87.44)
46	1,400 × 1,050 @60 Hz	65.22	60.00		＊ (122.61)
47	1,600 × 1,200 @60 Hz	75.00	60.00	＊ (162.0)	＊ (162.0)
48	1,600 × 1,200 @65 Hz	81.25	65.00	＊ (175.5)	
49	1,920 × 1,080 @60 Hz	67.50	60.00	＊ (148.5) ※4	＊ (148.5)
50	1,920 × 1,200 @60 Hz	74.04	59.95		＊ (154.0)
51	Macintosh13” (640 × 480)	35.00	66.67	＊ (30.24)	
52	Macintosh16” (832 × 624)	49.72	74.54	＊ (57.28)	
53	Macintosh21” (1,152 × 870)	68.68	75.06	＊ (100.0)	

※1 SMPTE 274M準拠。　※2 SMPTE RP211準拠。　※3 SMPTE 295M準拠。
※4 1,125 (1,080) / 60p として認識します。
※5 PC INに525p信号を入力し、RGBフォーマット選択した場合、VGA 60 Hzとして認識します。
※6 PC IN以外の入力端子にVGA 60 Hzフォーマットの信号が入力された場合、525pとして認識します。
※7 SMPTE 292M, 372M準拠。Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）装着時に受像可能となります。

修理を依頼される前に…もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
画面に光らない点がある	●プラズマディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があり、これは故障ではありません。	—
電源が入らない	●コンセントまたは本機から電源プラグが外れていませんか。	9・16
リモコンで操作できない	●電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。 ●リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 ●本機専用のリモコンを使用していますか。(他のリモコンでは動作しません) ●オプションメニューの「Remocon User level」設定を「Off」以外にしていませんか。	— — — 55
IDリモコンで操作できない	●「Remote ID」設定を「On」にしていませんか。また、リモコンの操作モード切り換えスイッチを「ID」側にしていませんか。(「Remote ID」設定を「On」にしている場合はリモコンの操作モード切り換えスイッチを「ID」側にしてID番号を設定する必要があります)	56
本機から時々、「ピシッ」と音がする	●画面や音声に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他には影響ありません。	—
映像が出るまでに時間がかかる	●本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときおよび2画面の主画面と副画面の映像を入れ換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
画面にはん点が出る	●自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか。	—
色あいが悪い、色が薄い	●色の濃さ、色あいの調整がずれていませんか。(映像の調整値をご確認ください。)	29
色模様が出たり色が消える	●他のテレビから影響(妨害電波)を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
ズームにしたとき画面の上または下が欠ける	●映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。 画面位置の調整をしてください。	25~27
ズームにしたとき画面の上下に映像の出ない部分ができる	●16：9より横長の映像ソフト(シネマサイズのソフトなど)のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	19・20
映像の輪郭がチラチラする	●パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	—
内部から音がする	●電源を入れると、ディスプレイパネルの駆動音が聞こえる場合があります。故障ではありませんので、ご了承ください。	—
色が極端に悪い	●コンポーネント入力切換の「色差ビデオ」、「RGB」は正しく選択されていますか。	39
4：3 映像の両端部分の明るさが変わる	●「サイドパネル設定」を「高」または「中」にして見ていると、表示内容によっては両端部分の明るさが変化する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	42
動きの少ない明るい映像のときに画面が少し暗くなる	●写真やパソコンの静止画像など動きの少ない明るい映像を長い間表示すると画面がやや暗くなります。 これは、画面の焼き付きや寿命の劣化を軽減するためで、故障ではありません。	17・42
ディスプレイ本体から「ヒュンヒュン」と音がする	●本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載していますが、夜間など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。 排気孔からのほこりが壁に付着することもありますので、設置場所にご注意願います。	—
本体のボタンで操作できない	●オプションメニューの「Button lock」設定を「Off」以外にしていませんか。	55

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

63ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体１年間
(ただしプラズマディスプレイパネルの焼き付きは除く)

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このプラズマディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
また、お客様に折り返し電話させていただくときのために、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示･提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容	
ご　氏　名	
ご　住　所	付近の見取り図、目印など。
電 話 番 号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	詳しくお願いします。
訪問ご希望日	

仕様

本体	品番	TH-85PF12（85V 型）※
	種類	ハイビジョンプラズマディスプレイ
	使用電源	AC200 V ±10 %　50 Hz ／ 60 Hz（単相）
	消費電力	1150 W
		本体電源「切」時　約 0.4 W リモコンで電源「切」時 約 0.7 W（待機電力低減設定「オン」） 約 1.2 W（待機電力低減設定「オフ」）
	プラズマディスプレイパネル	駆動方式 AC型
		85V 型※（アスペクト比16：9）
	画面寸法	幅 188.9 cm　高さ 106.2 cm　対角 216.7 cm
	画素数	2,073,600画素（水平1,920×垂直1,080） ［ドット数5,760×1,080］
	動作使用条件	温度：0 ℃～ 40 ℃　湿度：20 %～ 80 %
	デジタルRGB入力端子 (DVI-D IN)	AUDIO（M3ジャック）左・右：0.5 V [rms]
	LAN端子 (LAN)	RJ45 10BASE-T/100BASE-TX、PJLink™対応
	コンポーネント（色差）ビデオ／RGB入力端子 (COMPONENT/RGB IN)	Y/G（BNC）：1 V [p-p]（75 Ω）同期信号を含む P_B・P_R/C_B・C_R（BNC）：0.7 V [p-p]（75 Ω） R/B（BNC）：0.7 V [p-p]（75 Ω） AUDIO（M3ジャック）左・右：0.5 V [rms]
	パソコン入力端子 (PC IN)	SXGA対応：マルチスキャン方式（DDC2B対応） ＊ 対応周波数：水平15 kHz ～ 110 kHz　垂直48 Hz ～ 120 Hz （但し表示ドット数が水平あるいは垂直画素数を超える信号は簡易表示） G/Y　：1.0 V [p-p]（75 Ω）同期信号を含む B/P_B/C_B：0.7 V [p-p]（75 Ω） R/P_R/C_R：0.7 V [p-p]（75 Ω） HD/VD　：1.0 ～ 5.0 V [p-p]（ハイインピーダンス） （ミニD-sub15ピン） AUDIO（M3ジャック）左・右　0.5 V [rms]
	シリアル端子 (SERIAL)	外部制御用端子（D-sub 9ピン）、RS-232C 準拠
	音声出力端子 (AUDIO OUT)	RCA端子×2（左・右） 出力：可変（－∞～ 0 dB）〔1 KHz 0 dB入力、10 KΩ負荷時〕
	外形寸法	幅 201.5 cm　高さ 119.5 cm　奥行 9.9 cm
	質量	約 117 kg
	キャビネット材質	金属（前面、バックカバー）

リモコン	品番	EUR7636070R
	使用電源	DC 3 V（単3形乾電池2コ）
	操作距離	約 7 m以内（プラズマディスプレイ正面距離）
	使用範囲	受信部左右：30° 以内、受信部上下：20° 以内
	質量	約 130 g（乾電池含む）

※ ディスプレイの V 型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
● 本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。
本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

〈当製品に関するソフトウエア情報〉

この製品には、一部Free BSD LICENSEに基づきライセンスされるソフトウエアを搭載しております。

上記規定に基づきFree BSD LICENSE規定を記載します。

（なお、かかる規定は第三者による規定であるため、原文（英文）で記載しております。）

Copyright © 1980, 1986, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	
	販　売　店　名		お客様ご相談窓口	
		☎（　　）　－	☎（　　）　－	

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社 映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町１番15号　　☎（06）6905－5574

© Panasonic Corporation 2009

M0809S1109